

- ・このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- ・施工は必ず専門の工事業者の方が行ってください。
- ・この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。

この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

⚠ 注意

- ・取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

お願い

- ・取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- ・守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

※

- ・取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- ・取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。

補足

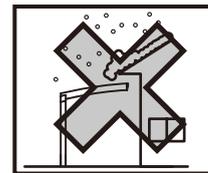
- ・説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

< 施工の前に >

⚠ 注意

- ・製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- ・日よけ・雨よけ以外の目的に本製品を使用しないでください。物置・遊び場あるいは住居の一部等への転用を目的に、みだりに改造・変更をしないでください。
- ・設置場所の確認をしてください。
※施工場所の気象条件(風、雪など)に合った製品かどうか確認してください。
※建物の屋根からの雪の落下を直接受けない位置かどうか確認してください。
※強風地域、特に崖上、屋上、風の通り道上などの施工は避けてください。
- ・傾斜地に設置する場合は、低い場所の埋込み深さを確保してください。
- ・崖縁などの高低差がある場所には設置しないでください。風当たりの強い場所では、風にあおられない向きに取付けてください。
- ・風当たりの強いところでは風が抜けなくなりますので、テラスの周囲を囲わないでください。
- ・一つの現場で同時に異なるサイズを施工する場合は、本来の製品性能を保持するために、部材を間違えないように確認してから施工を行なってください。
- ・外壁についている樋や配管などは避けるか十分に距離をあけて取付けてください。樋や配管を傷つける原因になります。
- ・既設のシャッターボックスのメンテナンススペースが確保できていることを確認した上で施工してください。
確保できない場合、メンテナンスができなくなるおそれがあります。
- ・給湯器や暖房機などの熱排気が製品内(屋根・パネルなどで囲んだ内部)にこもるような場所に施工しないでください。
排気による中毒や塗装劣化・剥離(はくり)のおそれがあります。



お願い

- ・施工場所に寸法的に正しく納まるか確認してください。
- ・正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- ・製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- ・梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。

< 基礎工事について >

⚠ 注意

- ・基礎部の埋込み深さは製品ごとに決まっていますが、現場によって(堅牢な地盤、軟弱な地盤など)基礎部のコンクリートの量(体積)を十分配慮してください。
- ・寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。強度低下の原因になります。
- ・柱内の水抜きができるよう、基礎には必ず碎石を敷き、柱と基礎の付け根部に水抜き穴(φ6)をあけてください。柱内の水が凍結膨張し、柱が破損するおそれがあります。
- ・モルタルやコンクリートには、塩分を含む砂(海砂)および塩素系や強アルカリのコンクリート用混和材(凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤等)は使用しないでください。使用するとアルミ等の金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。

お願い

- ・モルタルやコンクリート等が製品の表面に付着した場合は、速やかに拭取ってください。シミやムラ等の外観不良の原因になります。
- ・確認申請による設置の場合は、設置場所・現地地耐力度・設置条件によって基礎サイズが異なるため、確認して施工してください。

< 施工上のご注意 >

⚠ 注意

- ・アルミ製品が亜鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- ・製品の改造や、指定個所以外の穴加工はしないでください。
- ・水濡れのおそれがありますので、指定の個所にシーリングをしてください。
- ・シリコンシーリング材を使用する場合は、当社指定の脱アルコール系シーリング材を使用してください。

シーリング材メーカー	品名および品番
信越化学工業(株)	シーラント72
モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン(合)	トスシール380
東レ・ダウコーニング(株)	SE960

- ・ボルト、ネジは当社純正品の規定本数を使い、下記の推奨締付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。製品の強度低下、またはケガの原因になります。
 - ※φ4ネジ : 2.0N・m±0.2N・m
 - ※φ5ネジ : 3.0N・m±0.2N・m
 - ※M6ボルト : 7.5N・m±0.2N・m
 - ※M8ボルト : 10.0N・m±0.2N・m

お願い

- ・施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ※作業服および保護具(保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具)を正しく使用してください。
 - ※作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ※器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ※作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ※作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
 - ※万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- ・製品についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は、補修塗料で補修してください。
- ・取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- ・腐食のおそれのある接着剤や化学製品を使用する場合は、製品と接触しないようにするか、接触する部分を完全に養生してください。

< 施工の後に >

⚠ 注意

- ・ボルト、ネジを増し締めしてください。緩み止め付きボルトは、硬化前に増し締めしてください。

お願い

- ・取扱説明書は施主様にお渡しください。

INDEX

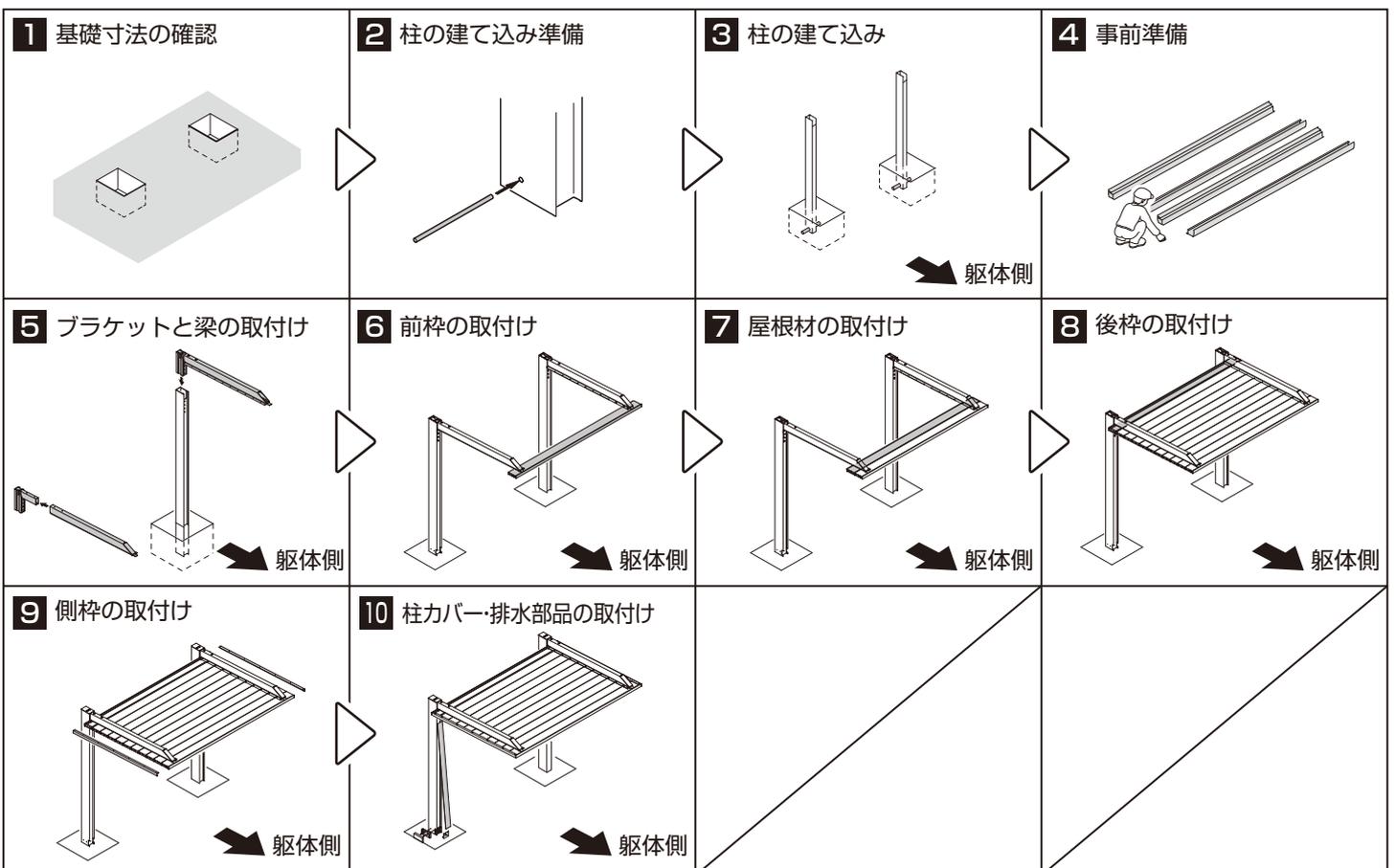
表示マーク	3	連棟タイプの施工	35
施工の流れ	3	連棟の確認事項	35
施工チェックポイント	4	基礎寸法の確認(連結部)	37
梱包明細表	7	1 事前準備	39
各部の名称	11	2 屋根部(1台目)の取付け	40
基本タイプの施工	12	3 前枠(2台目)の取付け	40
■ 基本の確認事項	12	4 連棟部材(上)の取付け	40
1 基礎寸法の確認	15	5 屋根部(2台目)の取付け	46
2 柱の建て込み準備	16	6 連棟部材の取付け	47
3 柱の建て込み	17		
4 事前準備	18		
5 ブラケットと梁の取付け	22		
6 前枠の取付け	24		
7 屋根材の取付け	26		
8 後枠の取付け	29		
9 側枠の取付け	31		
10 柱カバー・排水部品の取付け	32		

表示マーク



下記のオプションを取付ける場合は、対応した取付説明書を併せて参照してください。
 「テラスSC 照明 取付説明書(N006)」
 「SC ミニ・1台用 着脱式サポート 取付説明書(D646)」
 「スタイルシェード【アルミ屋根付用】 取付説明書(N004)」
 「吊り下げ物干しA・B/前後移動物干し 取付け説明書(M942)」
 「クリーンハンガー 取付説明書(E437)」
 「可動竿掛け(着脱式) 取付説明書(E268)」

施工の流れ



施工チェックポイント

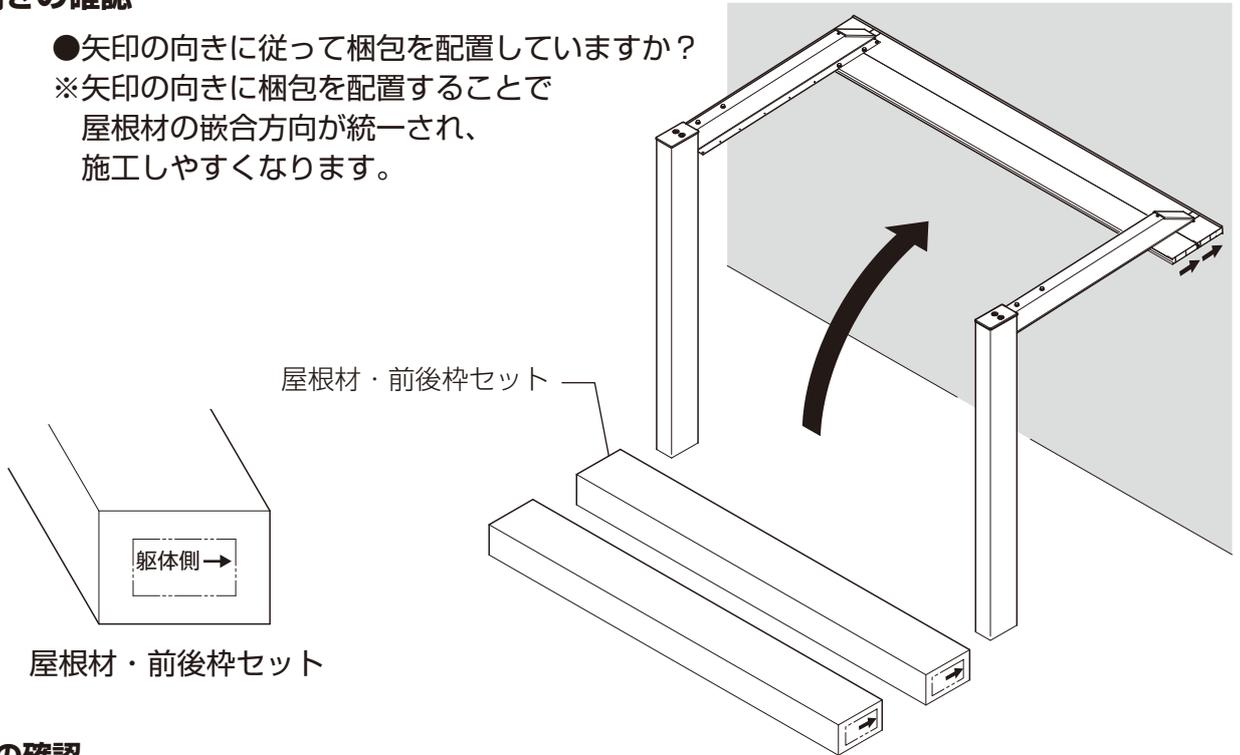
重要

- ・組立施工時、下記項目を確認し、確実に施工されていることを確認してください。
- ・正しい取付けをしなかった場合、屋根材の落下などにより、使用者がケガを負うおそれがあります。

① 梱包の向きの確認

チェック欄

- 矢印の向きに従って梱包を配置していますか？
- ※矢印の向きに梱包を配置することで屋根材の嵌合方向が統一され、施工しやすくなります。



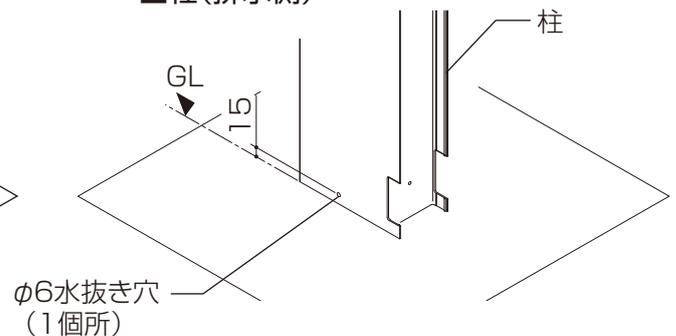
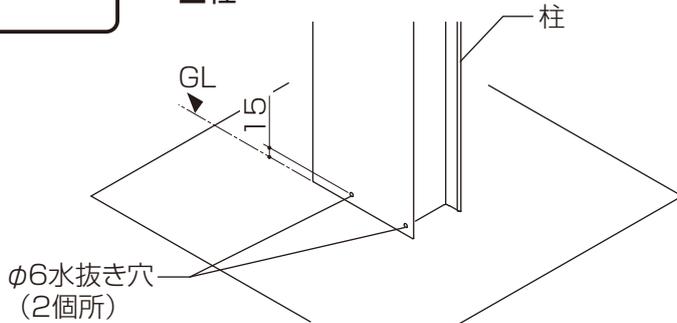
② 水抜き穴の確認

チェック欄

- 柱に水抜き穴はあけていますか？
- ※凍結により柱の破損のおそれがあります。

■柱

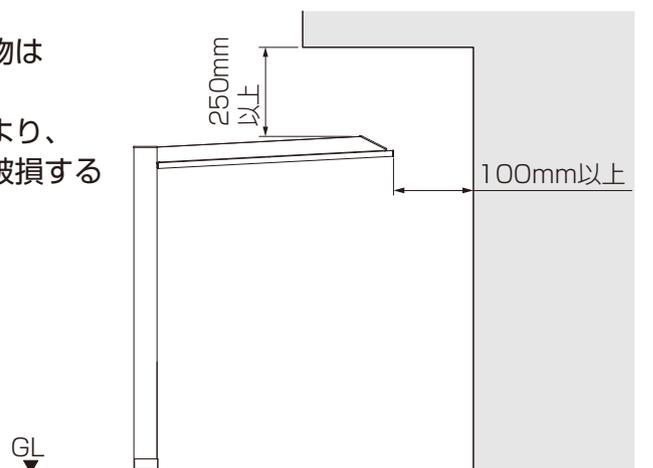
■柱(排水側)



③ 屋根部まわりの障害物の確認

チェック欄

- 屋根まわりに障害物はありますか？
- ※積雪や風の影響により、柱がたわみ建物が破損するおそれがあります。

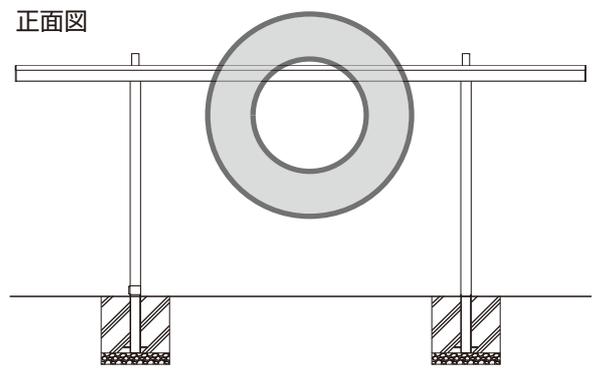
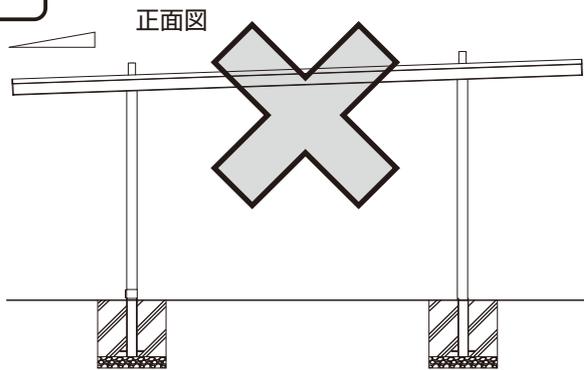


次ページに続く

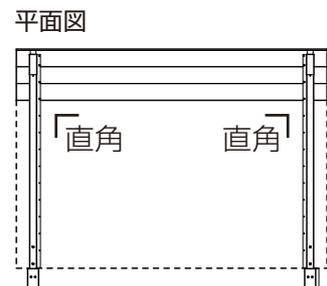
④屋根部の水平・直角確認

チェック欄

- 屋根部は“水勾配なし”になっていますか？
※排水部が端部にないため、水勾配を設けると雨水がたまり、雨漏れの原因になります。



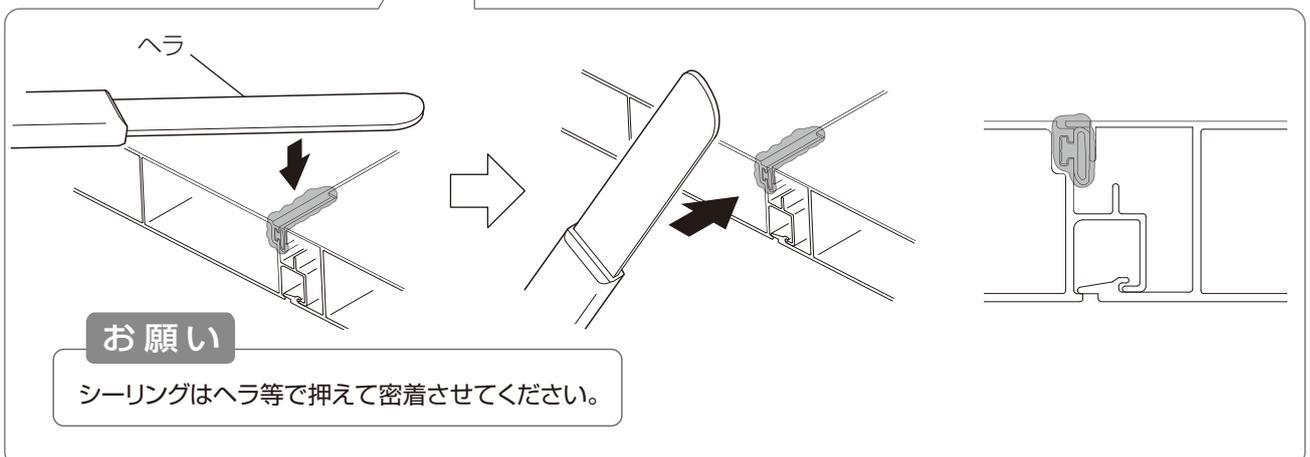
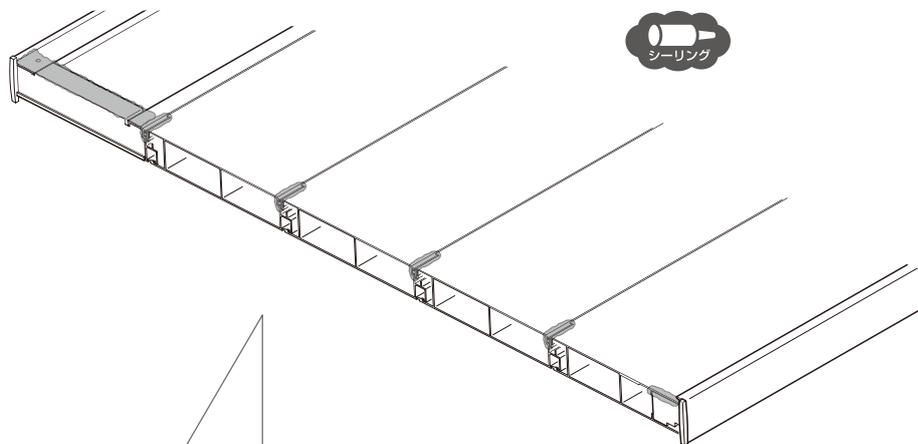
- 屋根部と梁が直角になっていますか？
※屋根材が取付けできないおそれがあります。



⑤屋根切欠き部のシーリングの確認

チェック欄

- 屋根材の切欠き部と端部にシーリングをしていますか？
※シーリングをしていないと雨漏りの原因になります。

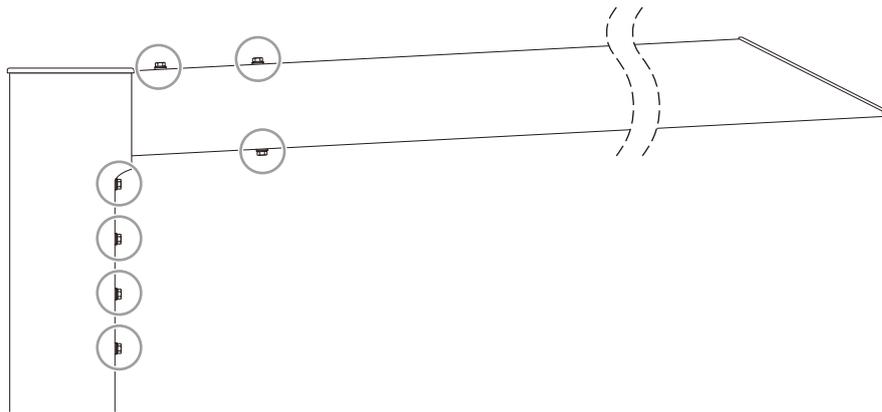
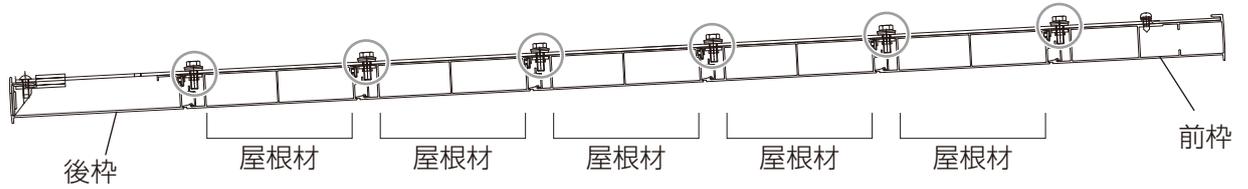


次ページに続く

⑥施工完了後、ボルト・ネジの締め忘れがないか確認

チェック欄

- 柱・梁のボルトと、屋根材・前枠と梁を取付けているボルトに緩みがないか確認してください。
- ※屋根のバタつきや漏水のおそれがあります。



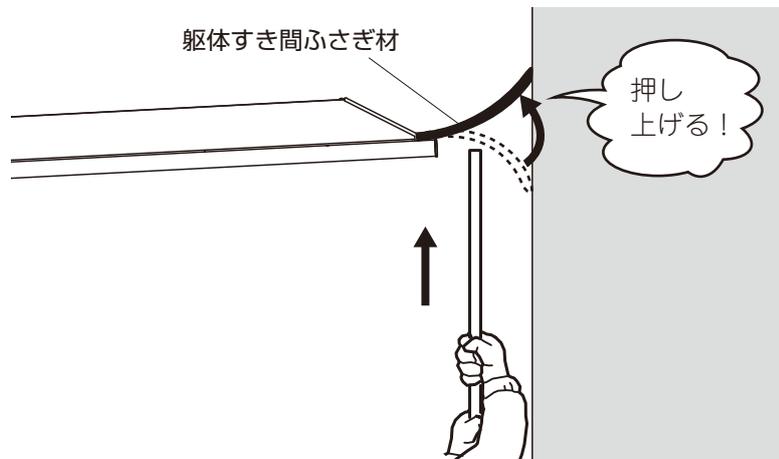
OP
作業

【すき間ふさぎ材】を取付ける
場合の作業です。

⑦施工完了後、すき間ふさぎ材を棒などで押し上げてください。

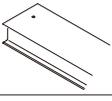
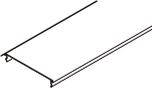
チェック欄

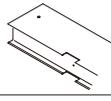
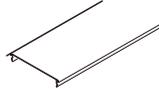
- ※すき間ふさぎ材が垂れて、雨の吹き込みが防止できないおそれがあります。

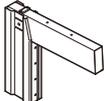


梱包明細表

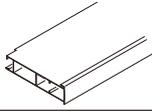
※施工の前に梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。

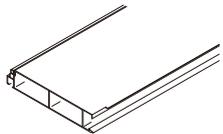
【1】 柱セット		員数
名称	略図	1本入
柱		1
柱カバー		1

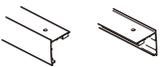
【2】 柱セット (排水用)		員数
名称	略図	1本入
柱(排水用)		1
柱カバー(排水用)		1

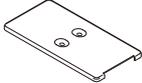
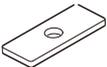
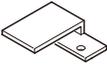
【3】 ブラケットセット		員数
名称	略図	2本入
ブラケット		2

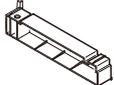
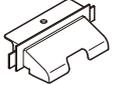
【4】 梁セット		員数
名称	略図	2本入
梁		左右各1

【5】 前後枠セット		員数
名称	略図	
前枠		1
後枠		1

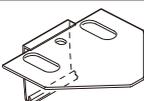
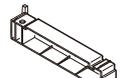
【6】 屋根材セット		員数	
名称	略図	2本入	3本入
屋根材		2	3

【7】 側枠セット		員数
名称	略図	
側枠		左右各1

【8】 フレーム組立部品セット		員数			
名称	略図	4尺	5尺	6尺	7尺
前枠施工補助金具		2	2	2	2
柱キャップ		2	2	2	2
梁キャップ		2	2	2	2
裏板		13 (予備含む)	17 (予備含む)	21 (予備含む)	25 (予備含む)
後枠取付け金具L		1	1	1	1
後枠取付け金具R		1	1	1	1
排水部品A		1	1	1	1
排水部品B		1	1	1	1
排水部品C-1		1	1	1	1
排水部品C-2		1	1	1	1
柱すき間ふさぎ部品		1	1	1	1
柱すき間ふさぎ部品 (排水)		1	1	1	1
φ8×200アンカー棒		2	2	2	2
取付説明書		1	1	1	1
取扱説明書		1	1	1	1
【8-1】M6×20 六角ボルト 緩み止め止水ワッシャー付		13 (予備含む)	17 (予備含む)	21 (予備含む)	25 (予備含む)
【8-2】M8×30 六角ボルト 緩み止め止水ワッシャー付		14	14	14	14
【8-3】φ5×20 トラスタッピンネジ3種		8	8	8	8
【8-4】φ5×10 トラスタッピンネジ3種		3	3	3	3
【8-5】φ4×13 ナベドリルネジ 止水ワッシャー付		2	2	2	2
【8-6】φ4×13 ナベドリルネジ		2	2	2	2

【9】 屋根組立部品セット		員数
名称	略図	
後枠固定金具		4
前枠コーナーキャップ L [部品番号]632070		1
前枠コーナーキャップ R [部品番号]632071		1
後枠コーナーキャップ L		1
後枠コーナーキャップ R		1
集水部品		1
雨樋穴ふさぎキャップ		2
水下ブロック L		1
水下ブロック R		1
穴ふさぎシール		24
【9-1】φ5×10 トラスタッピンネジ3種		3
【9-2】φ4×13 ナベドリルネジ 止水ワッシャー付		21 (予備含む)

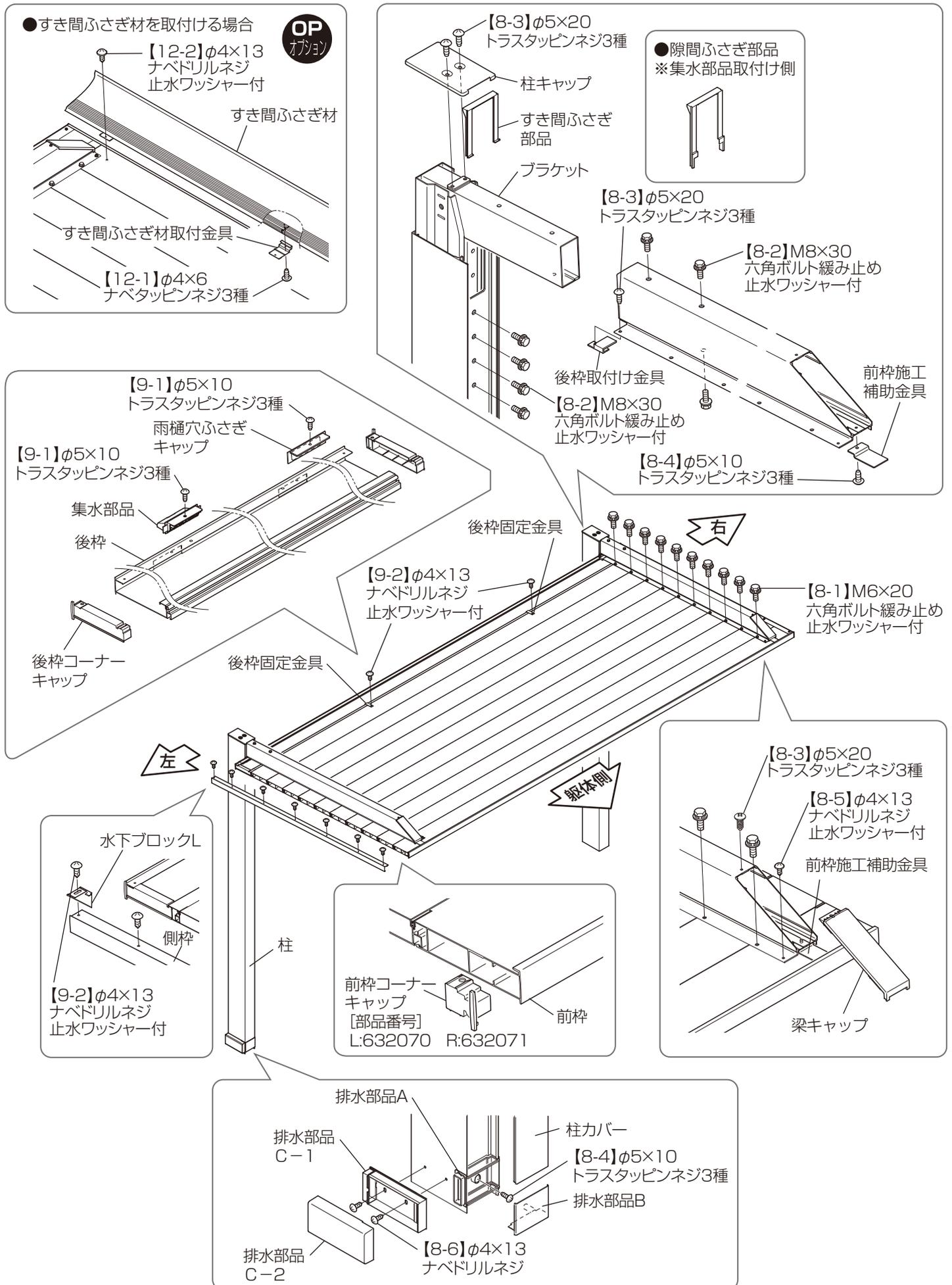
【10】 連棟部材セット		員数
名称	略図	
連棟部材(上)		1
連棟部材(下)		1
連棟部材カバー		1

【11】 連棟用屋根組立部品セット		員数
名称	略図	
後枠固定金具		4
連結カバー(連棟用)		2
落下防止金具(連棟用)		2
後枠コーナーキャップ L		1
後枠コーナーキャップ R		1
集水部品		1
雨樋穴ふさぎキャップ		2
穴ふさぎシール		24
【11-1】φ5×10 トラスタッピンネジ3種		5
【11-2】φ4×13ナベ ドリルネジ止水ワッシャー付		21
【11-3】φ4×13 ナベドリルネジ		7

名称	略図	員数			
		1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
すき間ふさぎ材		1	1	1	1
すき間ふさぎ材 取付金具		4	5	6	7
【12-1】φ4×6 ナベタッピンネジ3種		4	5	6	7
【12-2】φ4×13 ナベドリルネジ 止水ワッシャー付		4	5	6	7

【13】 雨樋アタッチセット (オプション)		員数
名称	略図	
雨樋アタッチメント (φ40接続用)		1
接着剤		1

各部の名称



基本タイプの施工

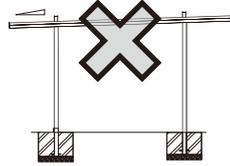
基本の確認事項

姿図

お願い

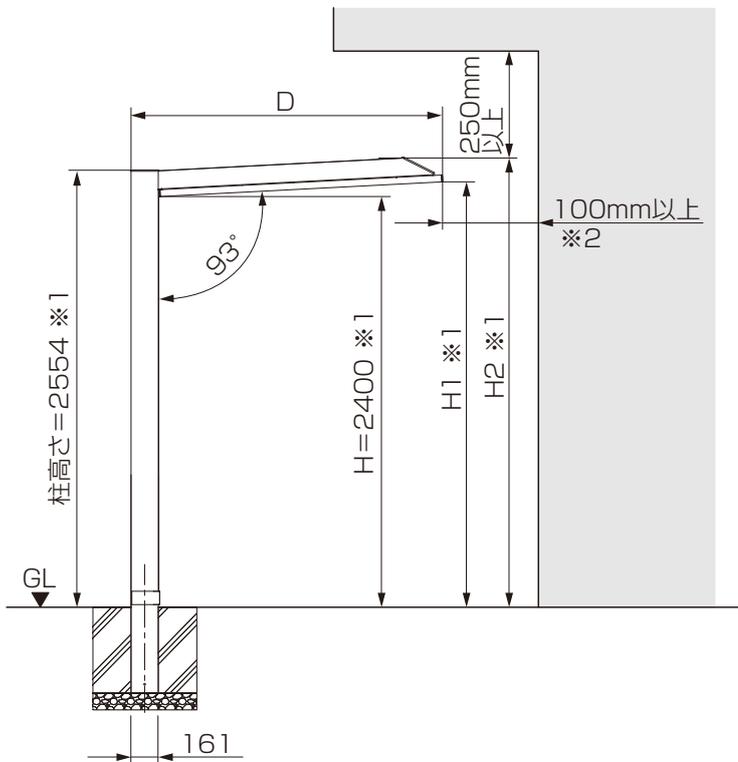
屋根部に水勾配はつけないでください。

排水部が端部にないため、水勾配を設けると雨水がたまるおそれがあります。



お願い

・柱内の水が抜けるように必ず碎石を敷いてください。



※1: 柱の高さは標準柱 [H24] の場合を示しています。
長尺柱 [H30] の場合は+600mmとなります。
※2: すき間ふさぎ材取付時は 102mmとしてください。

出幅	D	H1	H2
4R	1208	2455	2594
5R	1505	2470	2610
6R	1803	2486	2625
7R	2101	2502	2641

※3.0間7尺の設定はありません。

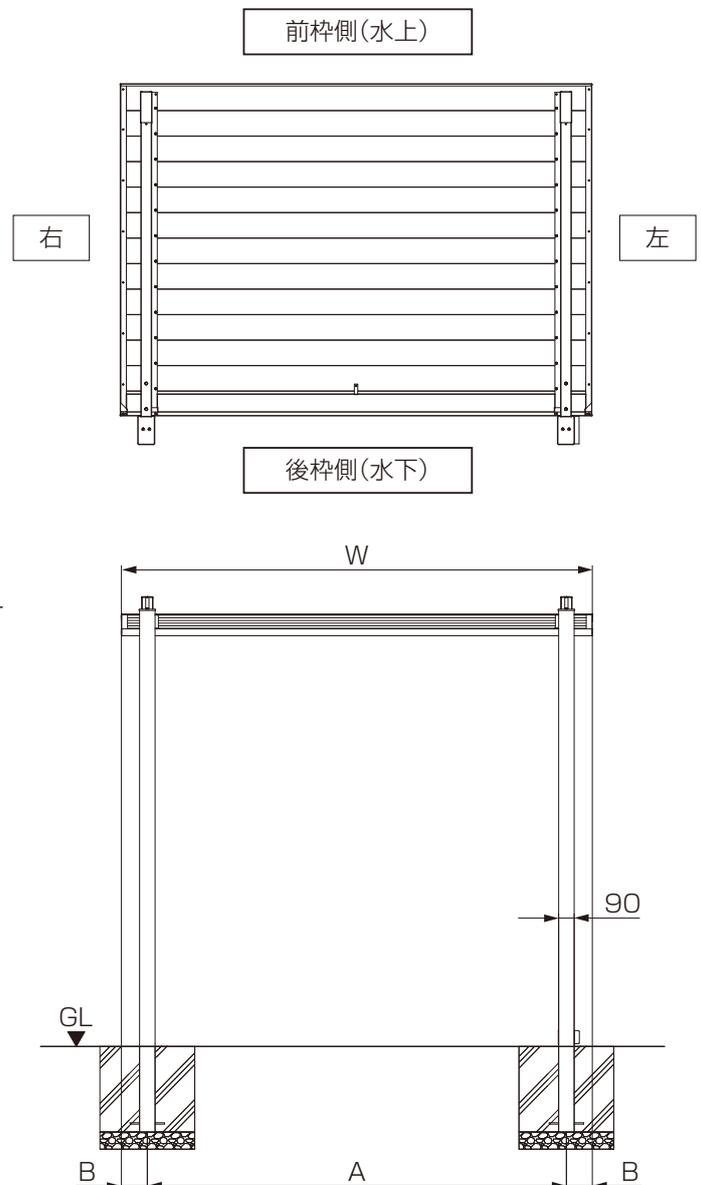
⚠ 注意



柱移動の場合の作業です。

【柱移動】をする場合

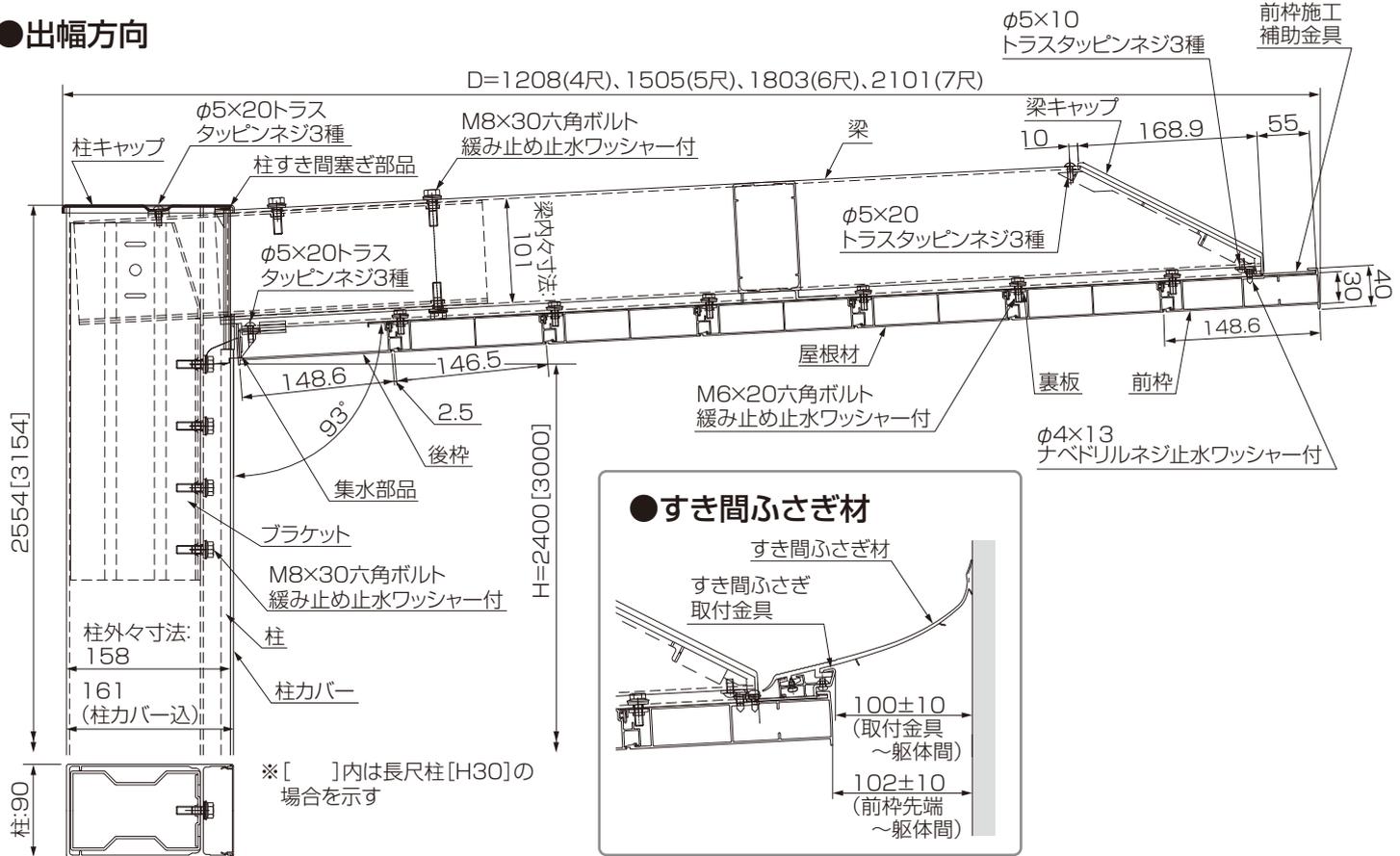
柱芯々寸法100mm以内で柱移動してください。ただし、柱内側40mmの範囲は移動できません。※他の部材と干渉するため、取付け不可となります。



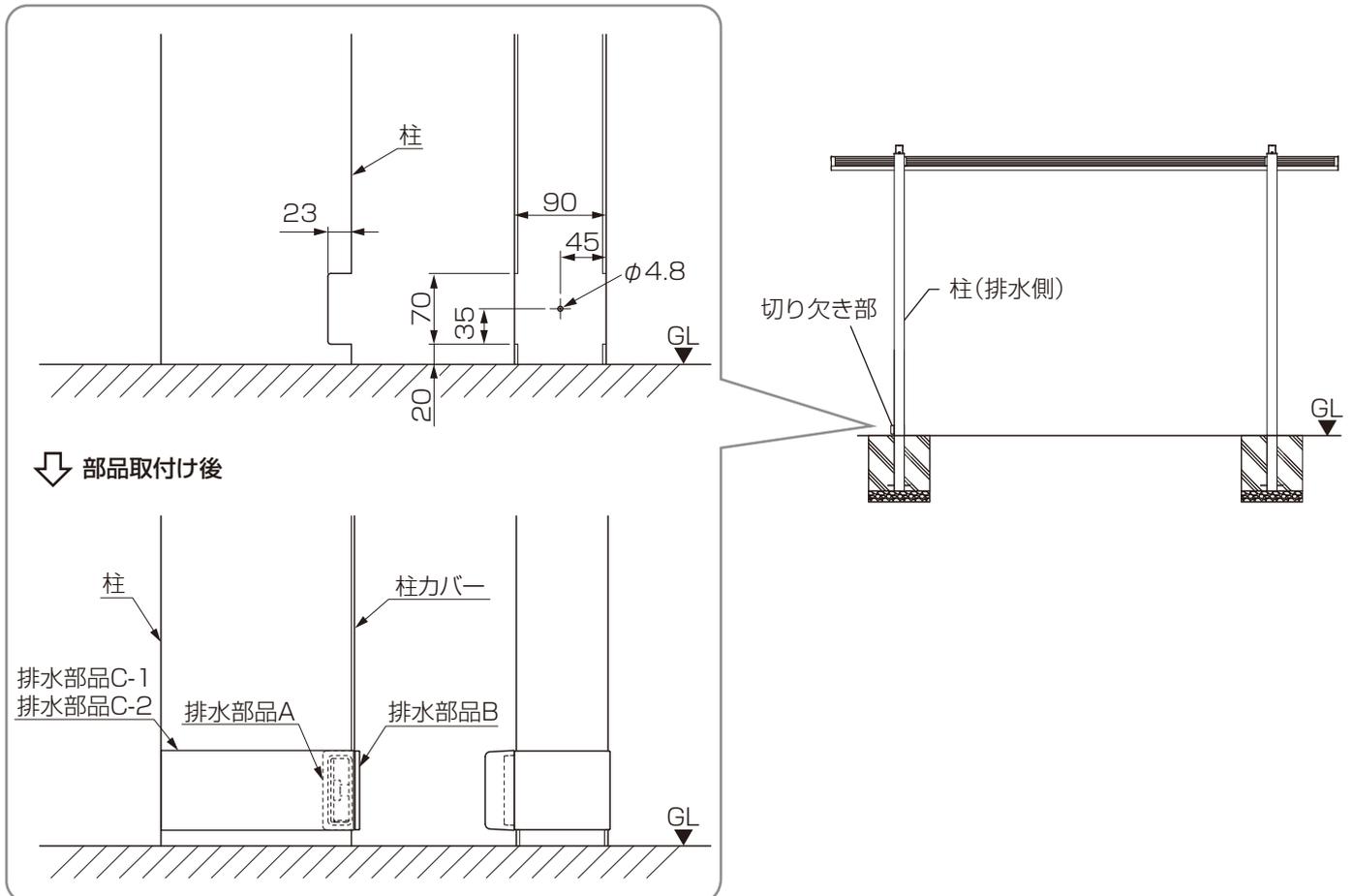
間口	W	A	B
1.5間	2730	2430	150
2.0間	3640	3340	150
2.5間	4550	3340	605
3.0間	5460	3340	1060

基本納まり図

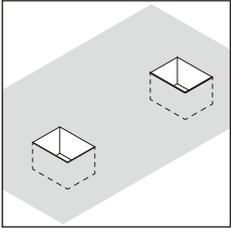
●出幅方向



●排水部



基礎の墨出し

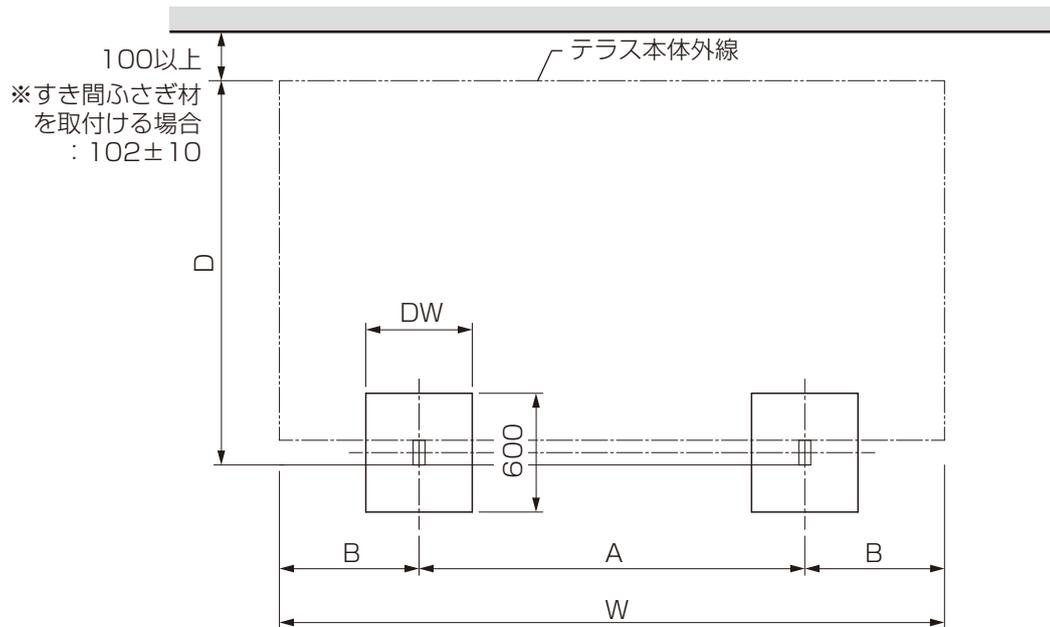


下記のオプションを取付ける場合は、対応した取付説明書を併せて参照してください。

「テラスSC 照明 取付説明書(N006)」

お願い

- ・基礎寸法は、次ページを参照してください。



A・B・D・W寸法は、P.12を参照してください。

1 基礎寸法の確認

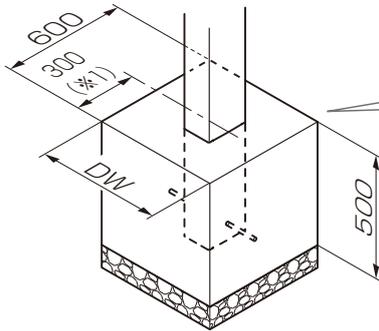
①基礎穴寸法を確認してください。

■基礎寸法DW

		間口			
		1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
出幅	4尺	550	550	550	600
	5尺	550	550	600	600
	6尺	550	600	600	600
	7尺	550	600	600	—



【独立基礎仕上げ】の場合の作業です。

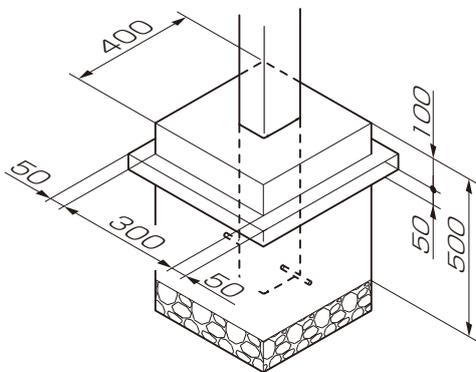


補足

(※1) は柱芯から基礎端面までの寸法です。

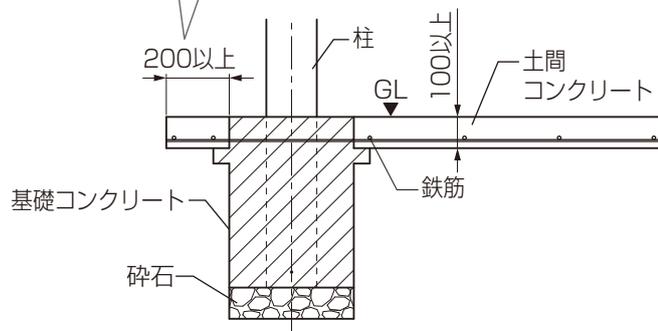


【土間コンクリート仕上げ基礎】の場合の作業です。



お願い

基礎上面と土間コンクリートの縁端距離は200mm以上になるようにしてください。



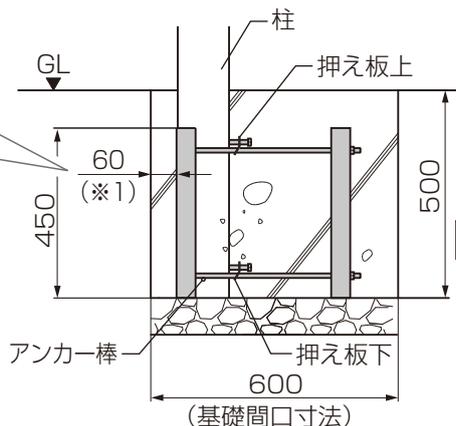
【偏心基礎部材】を取付ける場合の作業です。



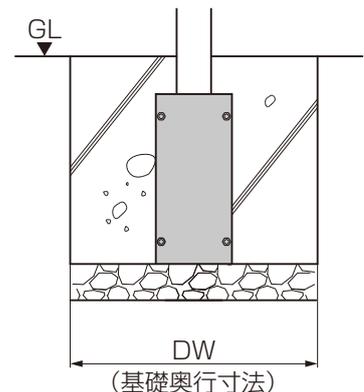
組立て方法、基礎寸法については【偏心基礎部材 取付説明書 (D349)】も参照してください。

補足

※1はタテ材Aの外
面から基礎端面の
寸法です。



躯体側



2 柱の建て込み準備

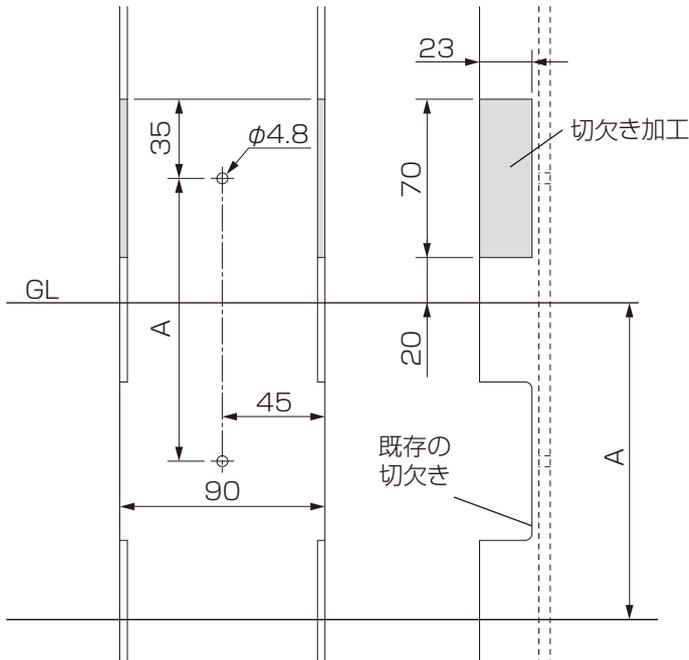
□ 柱の加工（柱を切詰める場合）

- ① 柱（排水用）に切欠きを移動する加工を行ってください。
- ② 柱カバーに切断加工を行ってください。

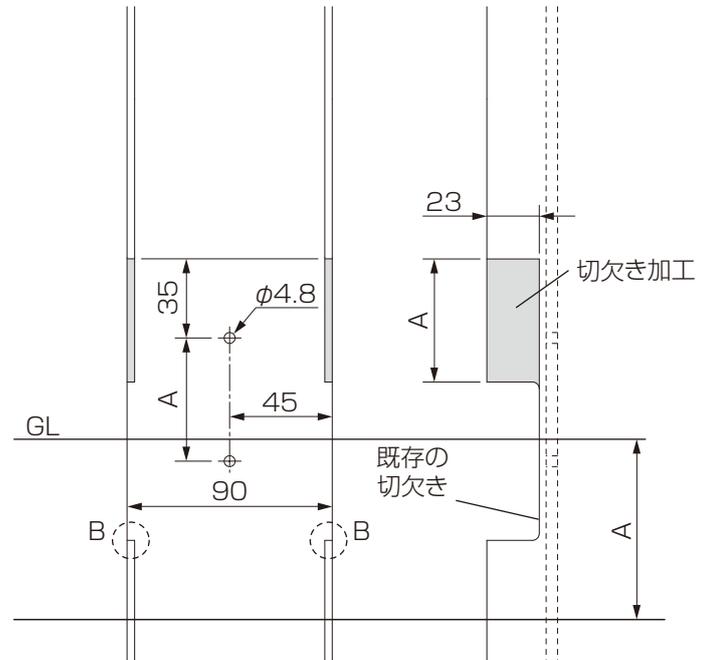
● 加工寸法

【柱】

切詰め寸法Aが70mm以上の場合

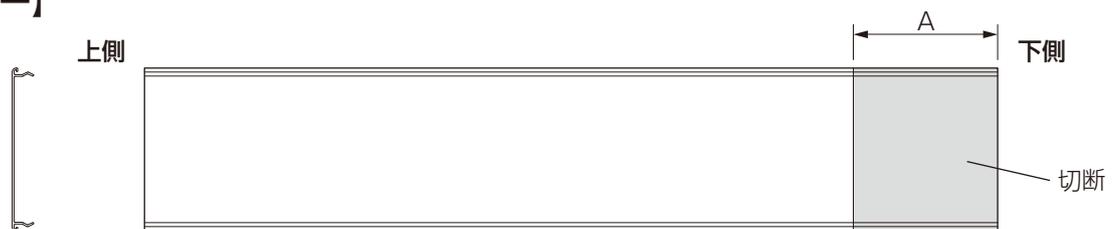


切詰め寸法Aが70mm以下の場合



※B部がGLより上になる場合は、既存の切欠きの角が露出しますので、切り落とすか基礎の中に埋める等の処理を行ってください。

【柱カバー】

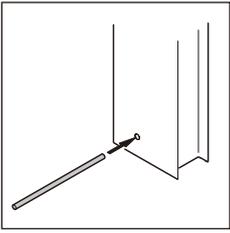


下記のオプションを取付ける場合は、追加で柱と柱カバー加工をします。対応した取付説明書を併せて参照してください。

「テラスSC 照明 取付説明書(N006)」

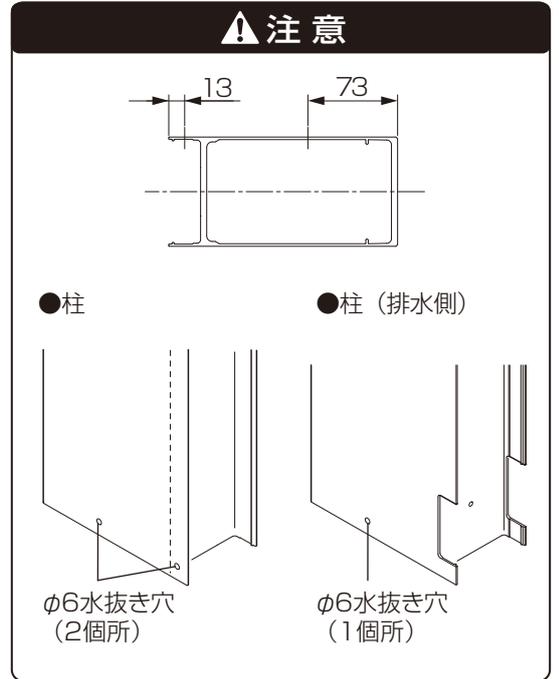
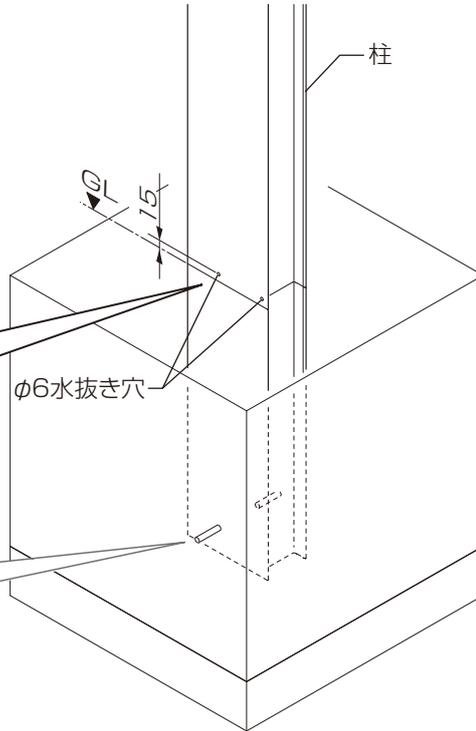
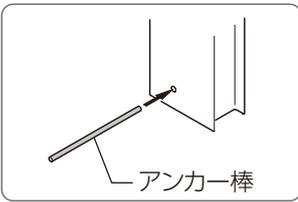
「テラス(デッキ接続) 取付説明書(N007)」

アンカー棒の取付け



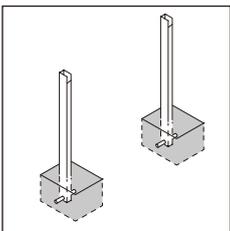
- ①アンカー棒を柱に差込んでください。
- ②φ6の水抜き穴を柱のGL付近(地上側)にあけてください。

注意
水抜き穴をあけないと、柱が破損するおそれがあります。

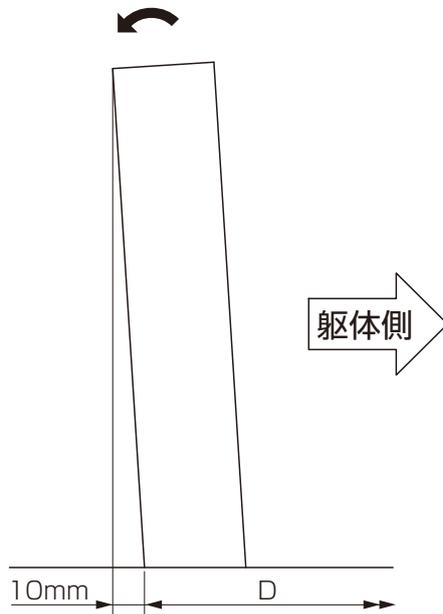


3 柱の建て込み

柱の建て込み



- ①柱を10mm程度倒して基礎穴に建て込んでください。



補足

- コンクリートが固まるまで、柱が倒れないように添え木や脚立に抱かせるなどしてください。
- 後ろ側に10mm程度倒した角度は、コンクリートが固まるまで保持してください。

4 事前準備

1 前枠への部品の取付け



柱移動をする場合、P.20を参照して部材を加工してください。



間口を切詰める場合、P.21を参照して部材を加工してください。

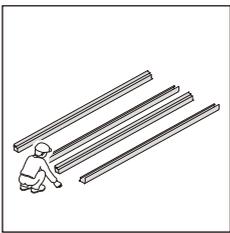


【すき間ふさぎ材】を取付ける場合、P.24を参照して前枠を加工してください。

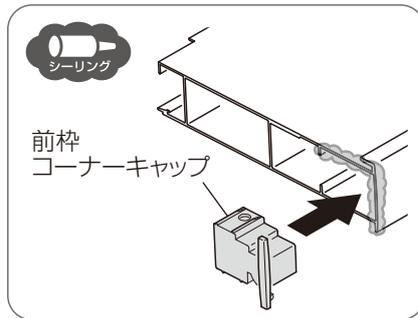


下記のオプションを取付ける場合は、対応した取付説明書を併せて参照してください。

「テラスSC 照明 取付説明書(N006)」
 「SC ミニ・1 台用 着脱式サポート 取付説明書(D646)」
 「スタイルシェード【アルミ屋根付用】 取付説明書(N004)」
 「吊り下げ物干しA・B/前後移動物干し 取付け説明書(M942)」
 「クリーンハンガー 取付説明書(E437)」
 「可動竿掛け(着脱式) 取付説明書(E268)」



①前枠にシーリングし、前枠コーナーキャップを取付けてください。



2 後枠への部品の取付け



下記のオプションを取付ける場合は、対応した取付説明書を併せて参照してください。

「テラスSC 照明 取付説明書(N006)」

補足

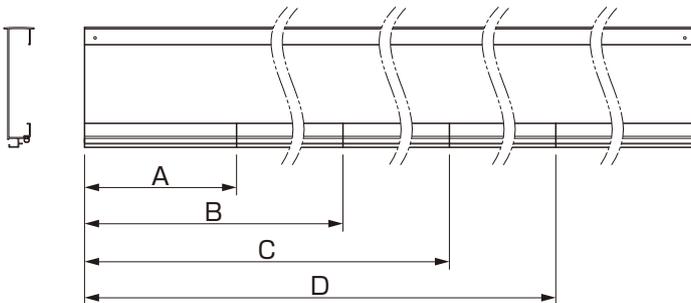
後枠固定金具を取付けるための処理です。



後枠固定金具については、P.30も確認してください。



①後枠に墨出しをいれてください。



間口	個数	A	B	C	D
1.5間	2	957.5	1767.5	—	—
2.0間	2	1261	2374	—	—
2.5間	2	1716	2829	—	—
3.0間	4	530	2171	3284	4925

②後枠に後枠コーナーキャップを取付けてシーリングしてください。

補足



後枠コーナーキャップのネジ止めはP.31で行ないます。

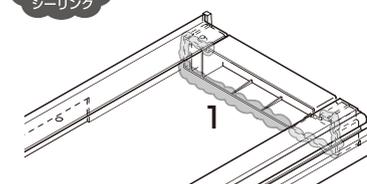
後枠コーナーキャップL

後枠コーナーキャップR

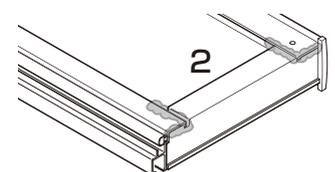
後枠



1、2の順にシーリングしてください。



内側から見る



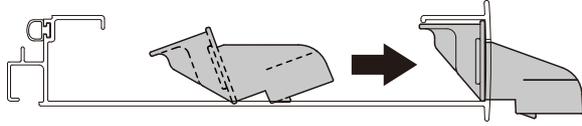
外側から見る

2 後枠への部品の取付け (つづき)

③集水部品・雨樋穴ふさぎキャップにシーリングをし、後枠に【9-1】で取付けてください。

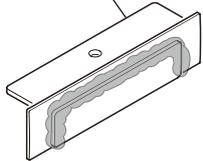
補足

集水部品は下図のように取付けてください。
※雨樋穴ふさぎキャップについても同様に取付けてください。

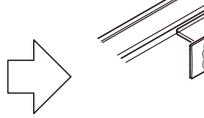


Aから見る

雨樋穴ふさぎ
キャップ



雨樋穴ふさぎ
キャップ



躯体側

【9-1】φ5×10

トラスタッピンネジ3種

後枠



下から見る

雨樋穴ふさぎ
キャップ

下面

後枠

お願い

柱(排水側)に集水部品を取付けてください。

【9-1】φ5×10
トラスタッピン
ネジ3種

集水部品

B

雨樋穴ふさぎ
キャップ

【9-1】φ5×10

トラスタッピンネジ3種

後枠



下から見る

集水部品

下面

躯体側

後枠

断面図



Bから見る

集水部品

集水部品

躯体側

【9-1】φ5×10

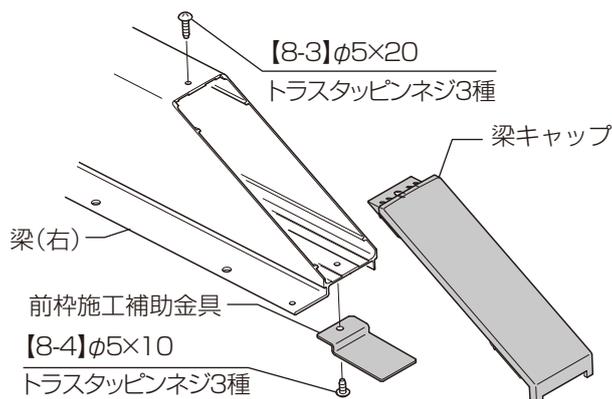
トラスタッピンネジ3種

後枠

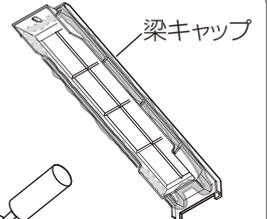
3 梁への部品の取付け

①前枠施工補助金具を【8-4】で梁に取付けてください。

②梁キャップにシーリングし、梁に【8-3】で固定してください。



梁方向から
裏面を見た図



梁フィン部

柱移動の場合

- ①前枠・屋根材・後枠に穴加工を行なってください。
- ②既存穴に穴ふさぎシールを貼ってください。
- ③後枠の排水側に集水部品と加工した雨樋穴ふさぎキャップを取付けてください。



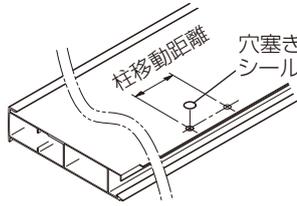
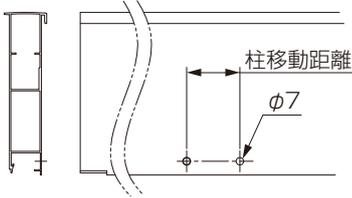
柱移動の場合の作業です。



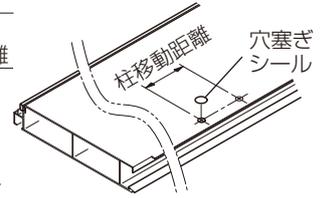
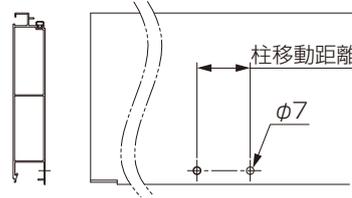
下記のオプションを取付ける場合は、対応した取付説明書を併せて参照してください。

「SC ミニ・1台用 着脱式サポート 取付説明書(D646)」

●前枠

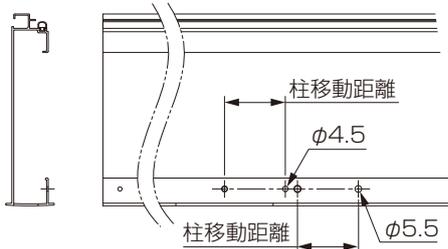


●屋根材

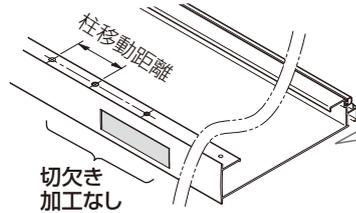
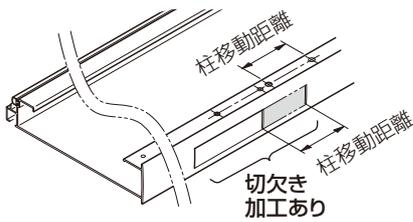
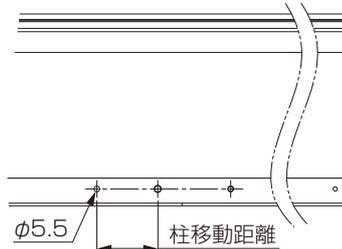


●後枠

【排水側】



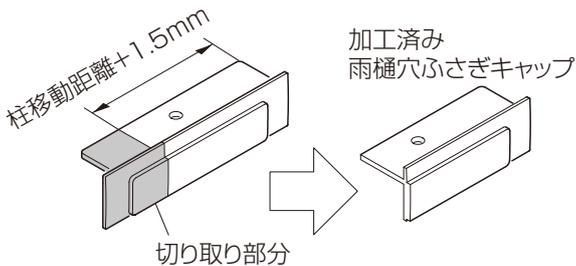
【排水しない側】



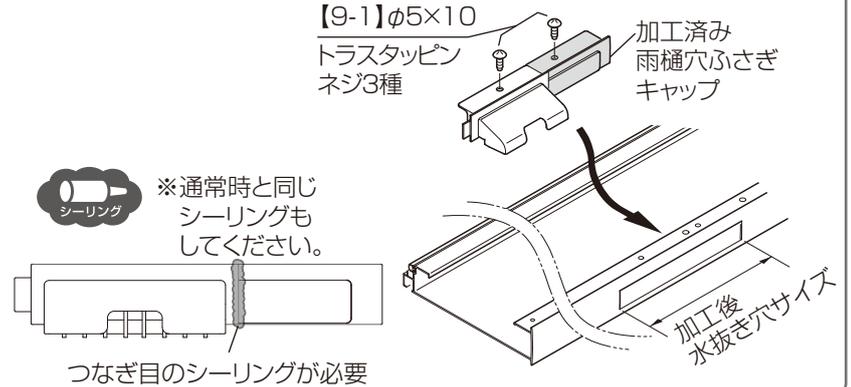
補足

【雨樋穴ふさぎキャップ】の加工は、必要ありません。

●【雨樋穴ふさぎキャップ】の加工



●【集水部品】と加工済み【雨樋穴ふさぎキャップ】の取付け



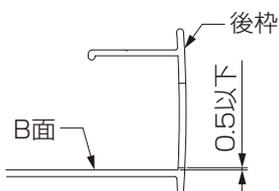
※通常時と同じシーリングもしてください。

つなぎ目のシーリングが必要

加工後水抜き穴サイズ

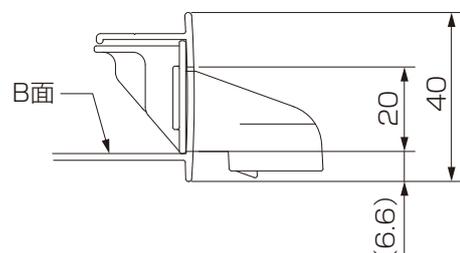
お願い

B面からの切り残しは0.5mm以下としてください。集水部品を取付けることができなくなります。



補足

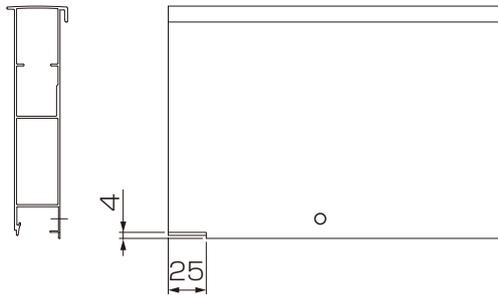
集水部品取付穴の位置はB面と同一面になります。



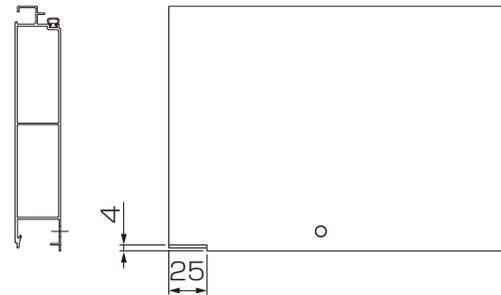
□ 間口を切詰める場合

- ①前枠・屋根材・後枠を切詰めてください。
- ②切詰めた前枠・屋根材の端部に切欠き加工をしてください。

●前枠

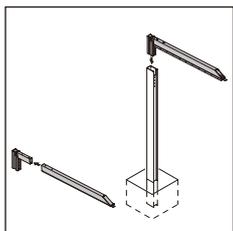


●屋根材



【すき間ふさぎ材】を取付ける場合、すき間ふさぎ材・すき間ふさぎ取付材を切詰め寸法分切断してください。

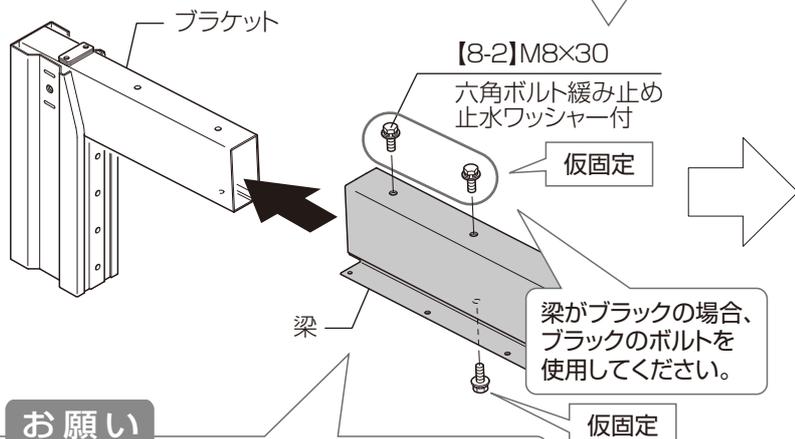
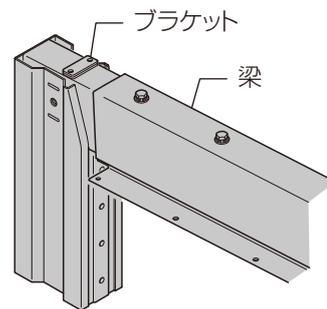
5 ブラケットと梁の取付け



- ①梁をブラケットに差込み【8-2】で仮固定してください。
- ②ブラケットを柱に差込み【8-2】で仮固定してください。

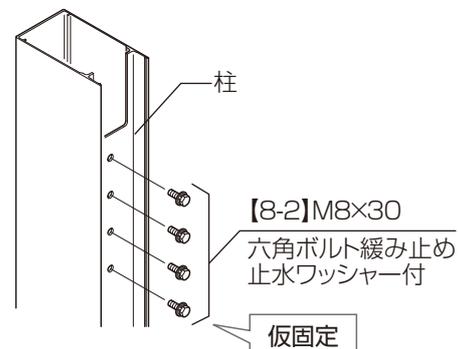
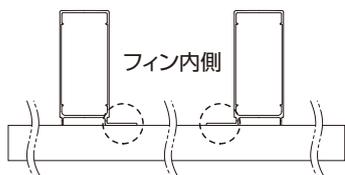
お願い

緩み止め剤硬化後にボルトを「緩めたり、締めたり」しないでください。緩みやずくなる場合があります。(締め付け後、約24時間で硬化します。)



お願い

梁には向きがあります。
梁のフィンが内側になるように取付けてください。



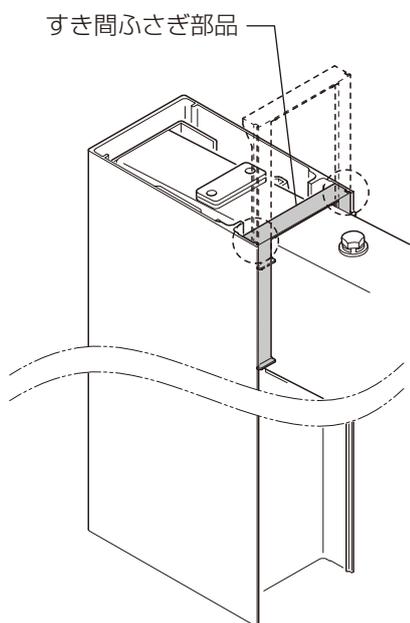
補足



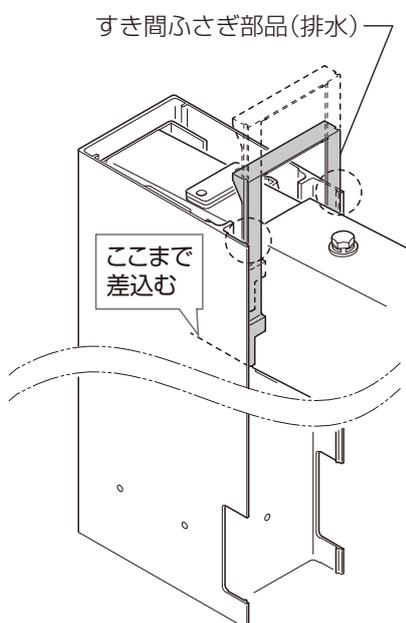
仮固定したボルトは **7** 屋根材の取付け
で本固定します。

- ③すき間ふさぎ部品を取付けてください。

●柱



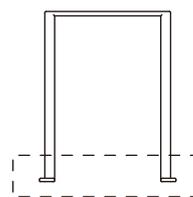
●柱(排水側)



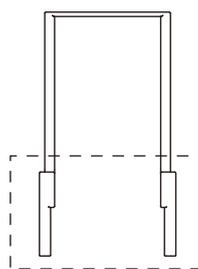
補足

柱隙間ふさぎ部品には種類があります。
点線部分の形状で判断できます。

●柱

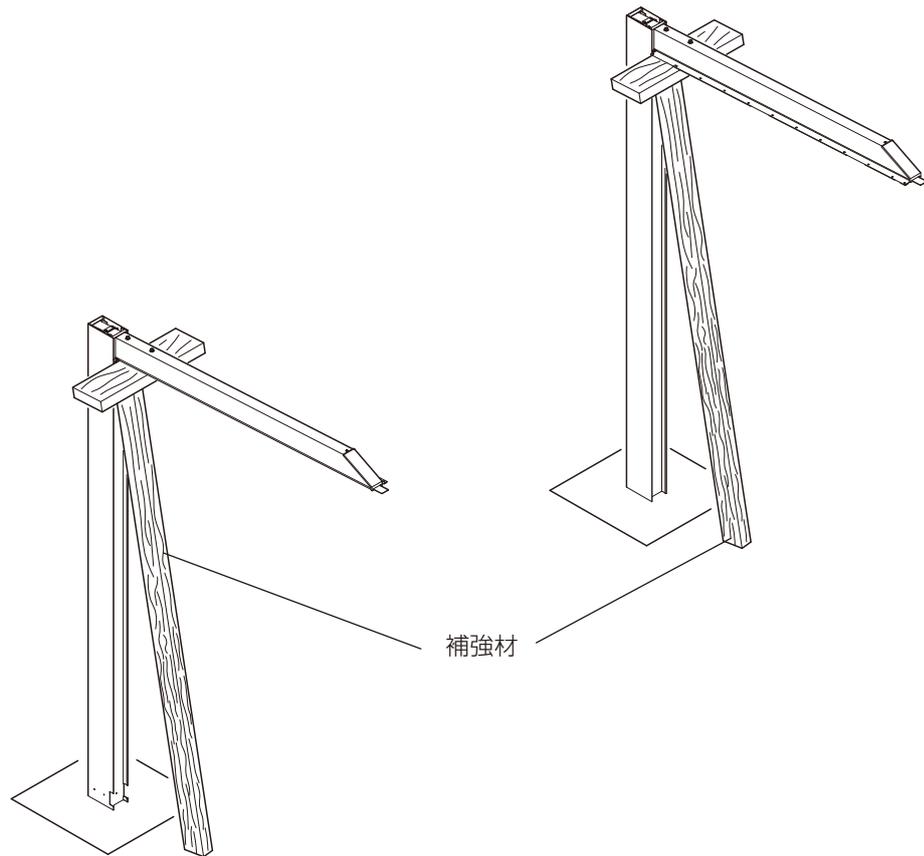


●柱(排水側)

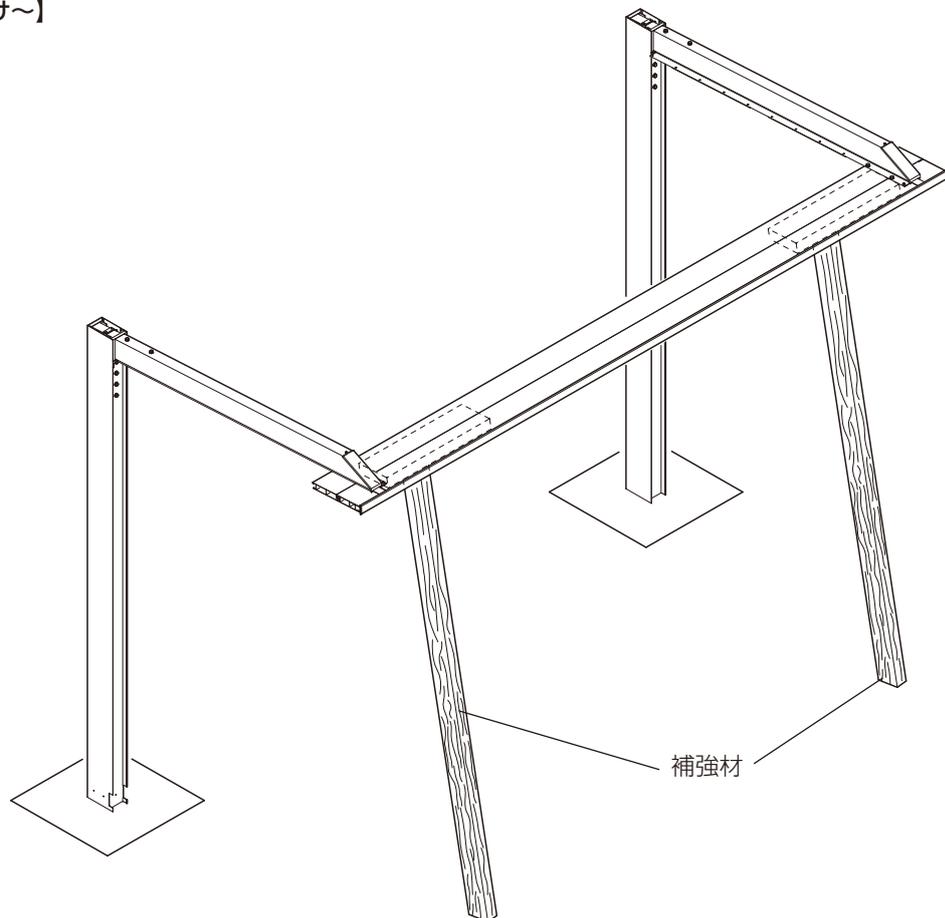


(参考例) 補強のしかた

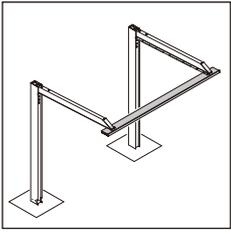
【ブラケットと梁取付け～前枠・屋根材1枚目取付け】



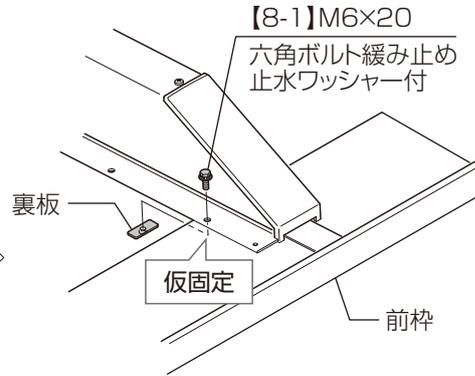
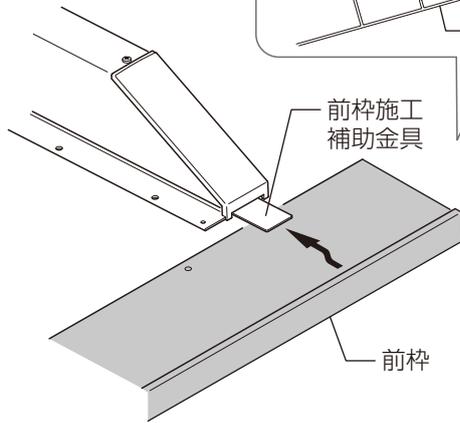
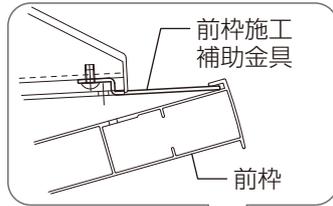
【屋根材2枚目取付け～】



6 前枠の取付け



①前枠を前枠施工補助金具に引っ掛け【8-1】で仮固定してください。



お願い

着脱式サポートを取付ける場合、部材へ事前に加工する必要がありますので、着脱式サポートの取説を確認してください。

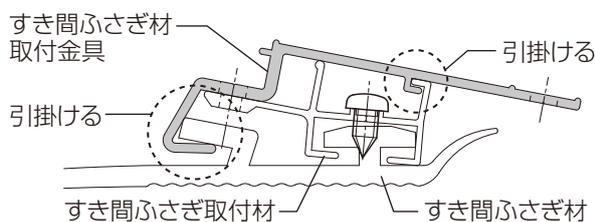
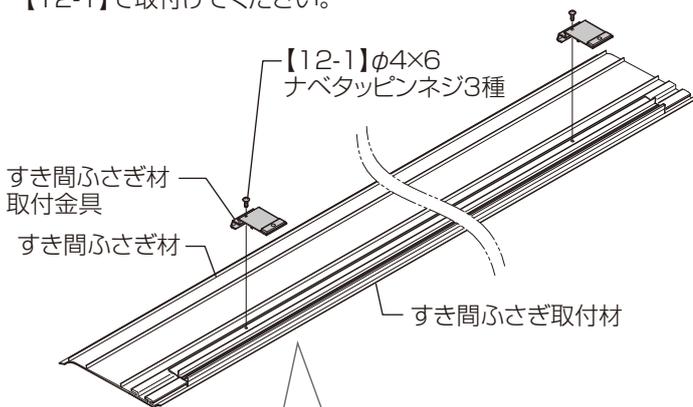


【すき間ふさぎ材】を取付ける場合の作業です。

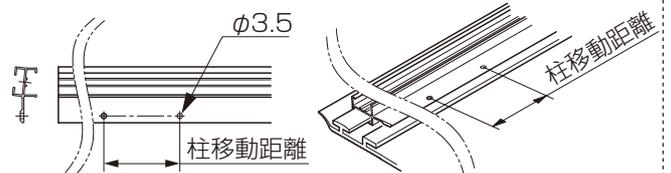
1 事前準備（すき間ふさぎ材）

●すき間ふさぎ材

①すき間ふさぎ材取付金具をすき間ふさぎ取付材に【12-1】で取付けてください。



1.5間、2.0間で柱移動する場合、柱移動距離を足してください。



補足

すき間ふさぎ材の両端部にすき間ふさぎ材取付金具を取付けるための処理です。中間部の加工は必要ありません。

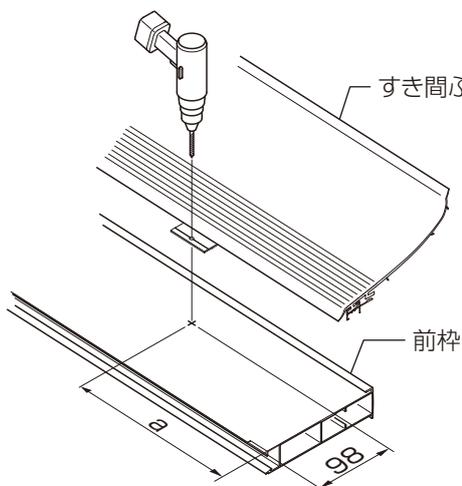
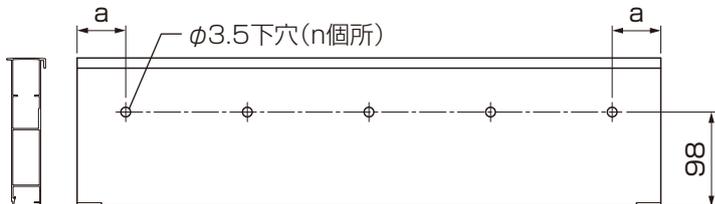


【すき間ふさぎ材】を取付ける場合の作業です。

1 事前準備（すき間ふさぎ材）（つづき）

●前枠

①すき間ふさぎ材取付金具を写し穴にして、 $\phi 3.5$ の下穴を加工してください。



間口	a※	n
1.5間	243.5	4
2.0間	243.5	5
2.5間	128.5	6
3.0間	128.5	7



※1.5間、2.0間で柱移動する場合、柱移動距離を足してください。

補足

すき間ふさぎ材取付金具を取付けるための処理です。

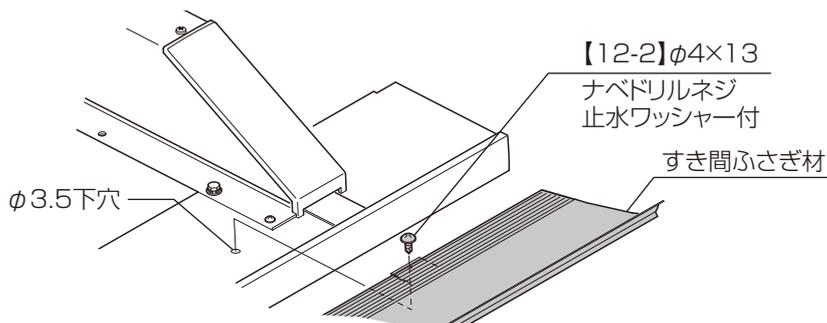


P.24 すき間ふさぎ材取付金具については、P.24も確認してください。



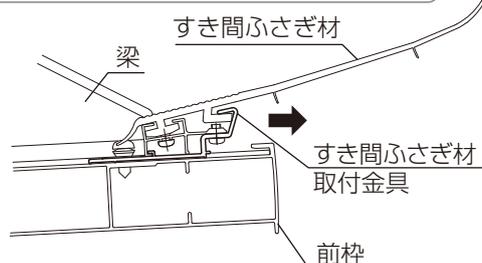
2 すき間ふさぎ材の取付け

①すき間ふさぎ材を前枠のフィン部に当て【12-2】で下穴に合わせて取付けてください。



お願い

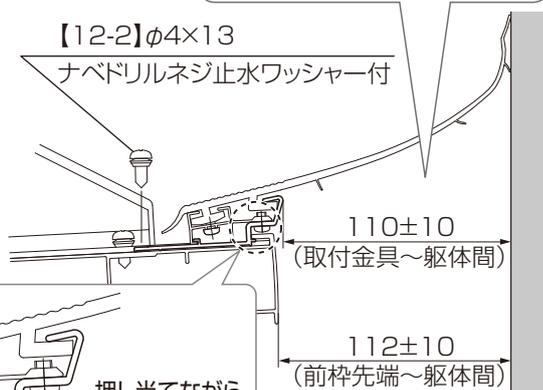
すき間ふさぎ材は、壁にあてがいがながら取付けてください。



補足

屋根材全て取付けることで、屋根全体の重量により100±10まで接近します。

【12-2】φ4×13
ナベドリルネジ 止水ワッシャー付

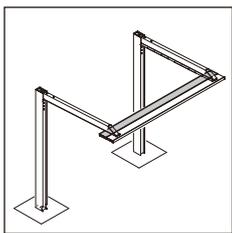


押し当てながらネジ止めてください。

取付け後にすき間ふさぎ材を下から押し上げて、ガタつきがないことをご確認ください。

7 屋根材の取付け

1 1～2枚目の取付け

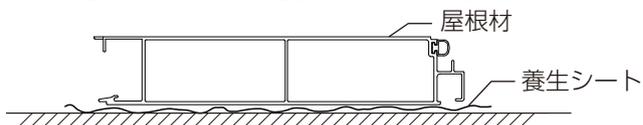


①屋根材(1枚)を前枠に引っ掛け、裏板と【8-1】で仮固定してください。

お願い

【屋根材を仮置きする場合】

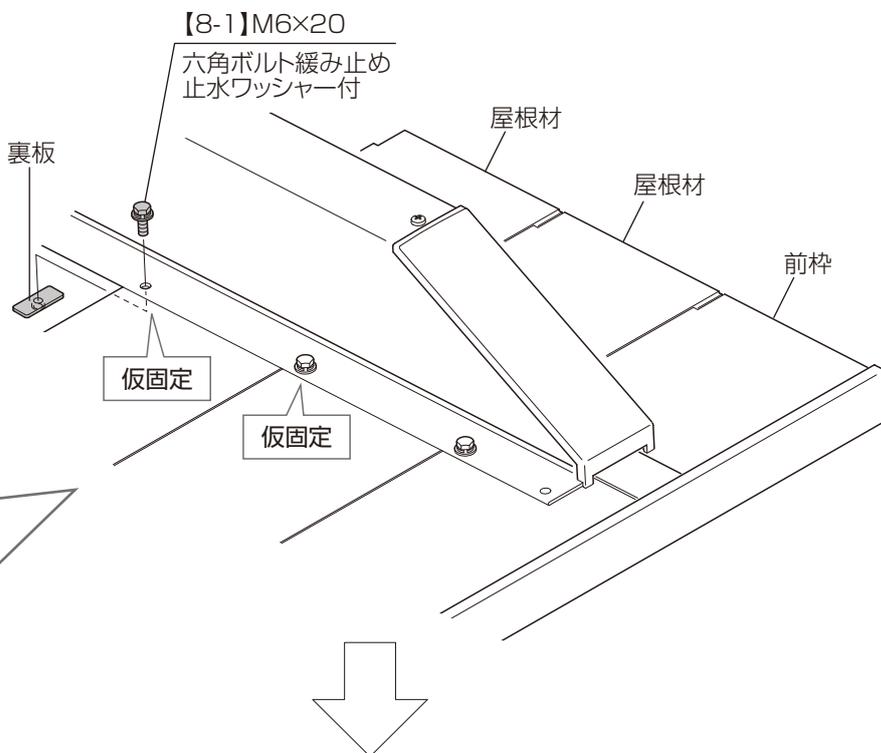
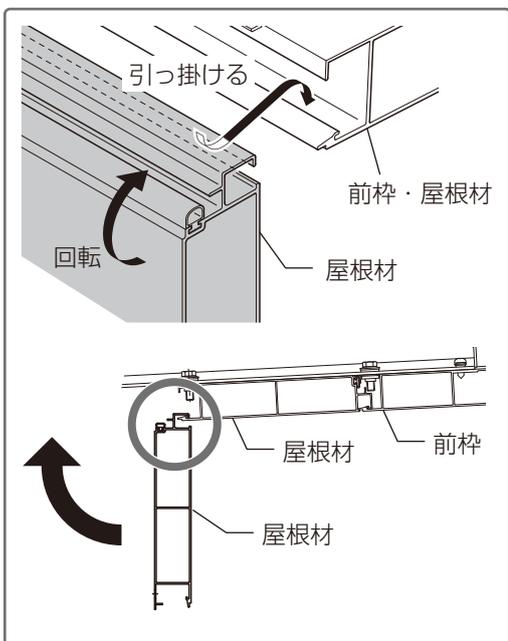
下面が意匠面となるため、養生シートの上に置いてください。



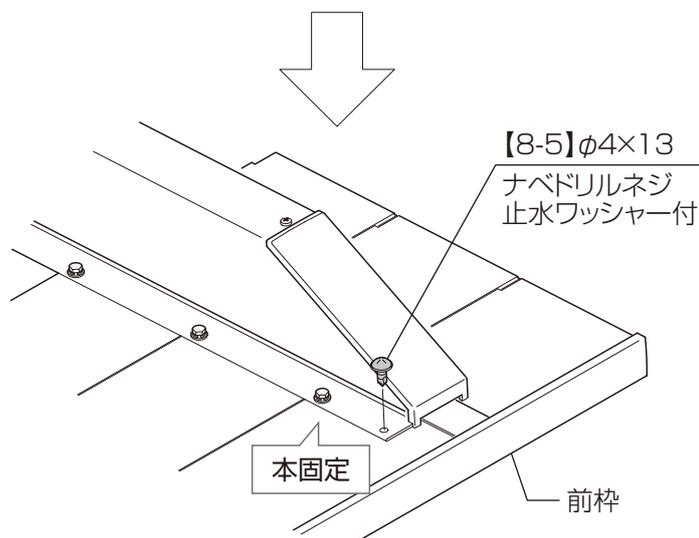
②屋根材同士を引っ掛け裏板と【8-1】で屋根材2枚目を仮固定してください。

③直角を確認し、前枠を本固定してください。

④前枠を梁に【8-5】で取付けてください。



直角の確認
(梁の先端の距離と根元の距離を確認)

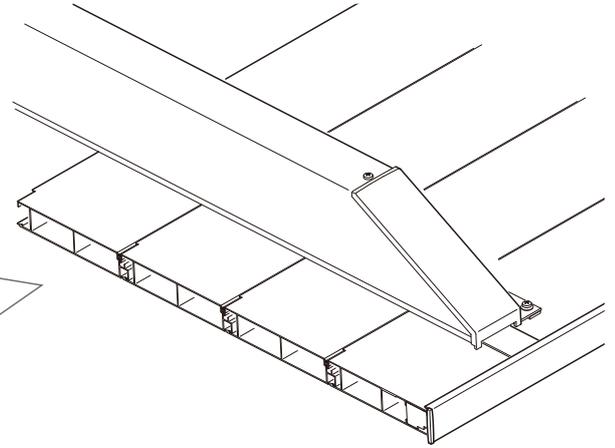
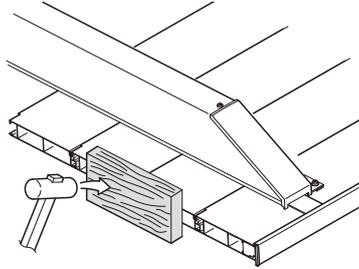
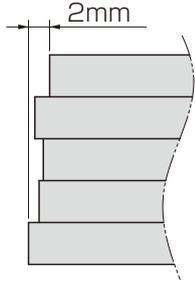


2 3枚目以降の取付け

- ①1～2枚目と同様に3枚目を【8-1】で仮固定してください。
- ②屋根材端部がそろっていることを確認して、1枚目の屋根材を本固定してください。
- ③4枚目以降の屋根材も同様に取付けてください。

お願い

- ・屋根材端部は全体で±1mm（見目で気にならないよう）にそろえてください。
- ・端部をそろえるときはあて木をし、ハンマーでたたいてください。端部をそろえると直角になります。

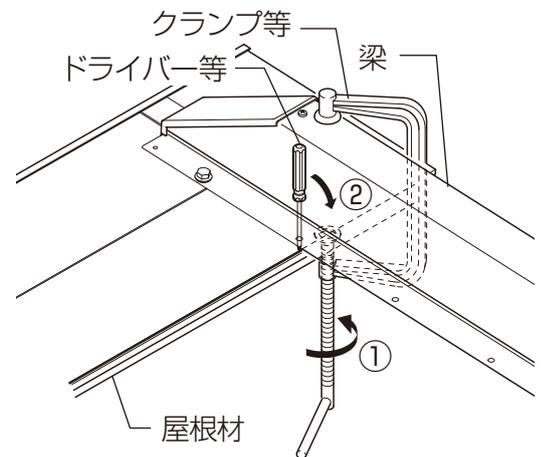


補足

屋根材を何枚か取付けると、穴位置がズれることがあります。ドライバー等で穴をこじると施工しやすいです。

補足

取付穴が合わないときは……

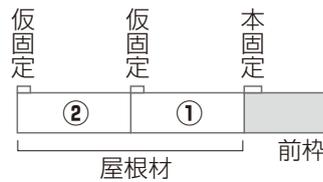


- ①取付ける屋根材と梁をクランプ等で挟み、取付ける屋根材の穴にドライバー等を差し込んでください。
- ②クランプを締めながらドライバーを手前に引いてください。

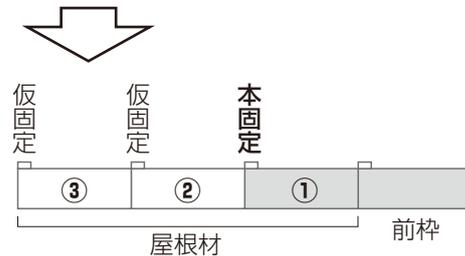
お願い

- ・クランプで挟む際に屋根材を締め付け過ぎないように注意してください。屋根材が変形することがあります。
- ・クランプで挟む際に屋根材に傷つかないように注意してください。

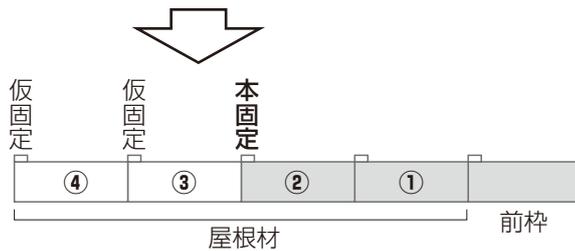
手順1



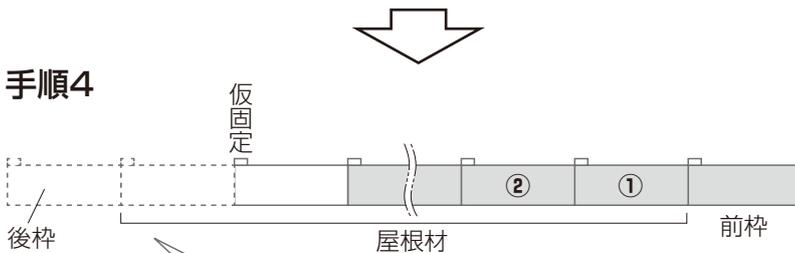
手順2



手順3



手順4

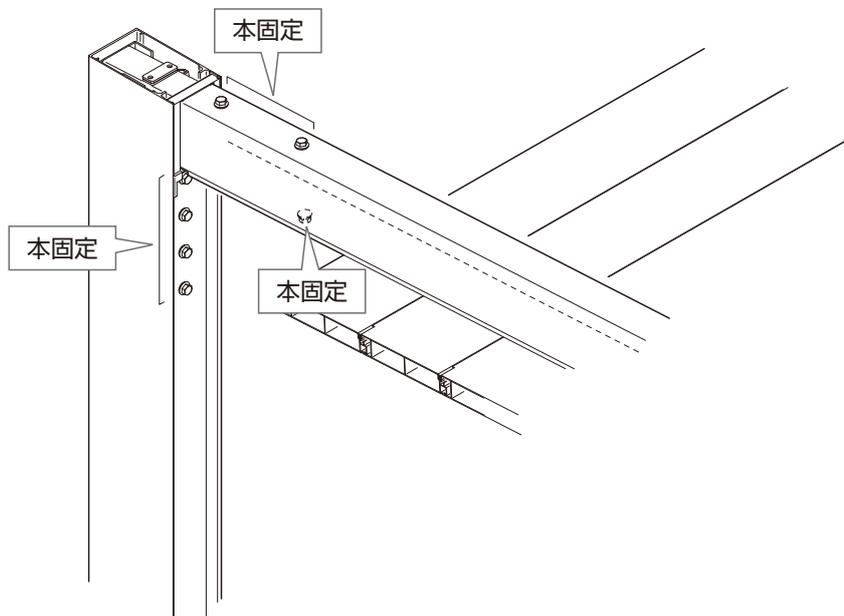


補足

最後の屋根材を取付ける前にブラケットを本固定します。屋根材1枚分と後枠のスペースを空けておいてください。

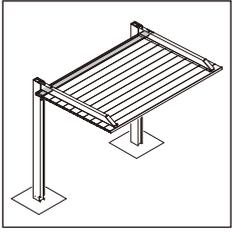
3 最後の屋根材の取付け

- ①梁・柱とブラケットに取付けたボルトを本固定してください。
- ②最後の屋根材を②と同様に【8-1】で仮固定してください。

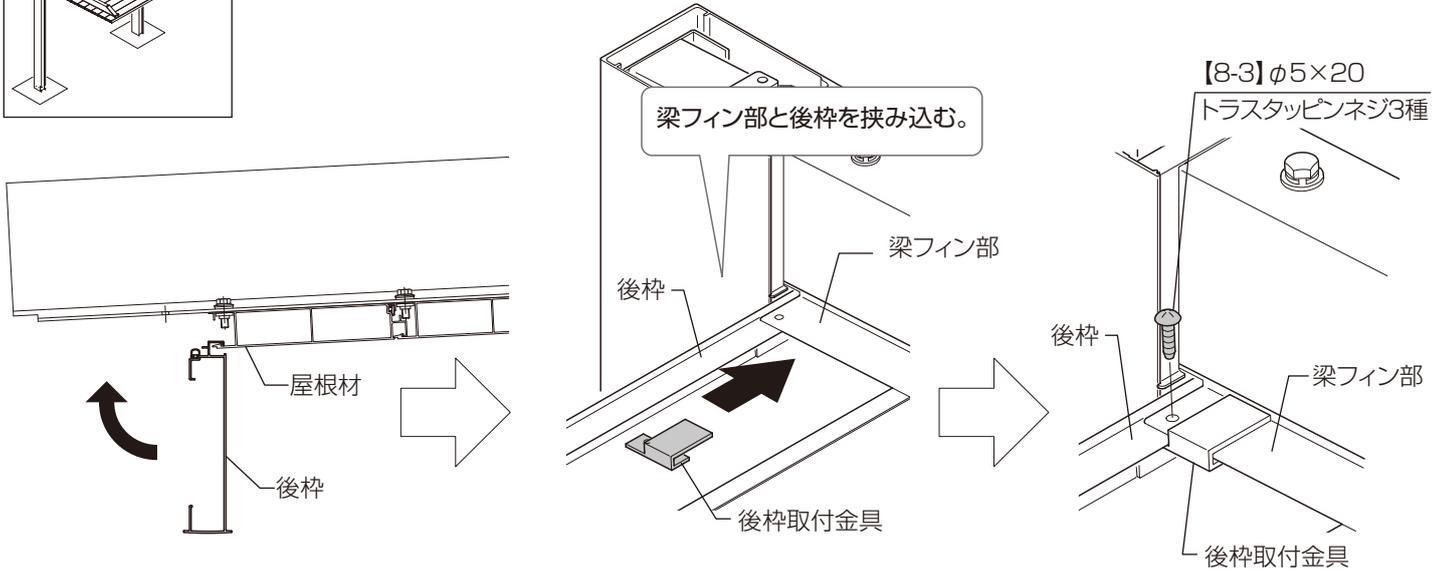


8 後枠の取付け

1 後枠の取付け



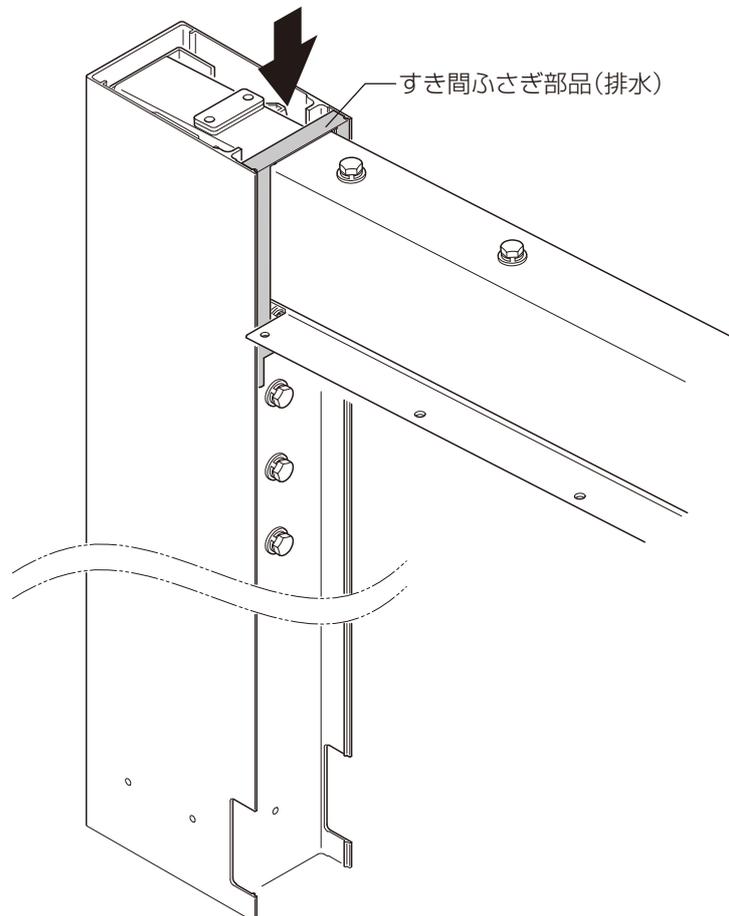
- ①後枠を屋根材に引っ掛けてください。
- ②梁フィン部と後枠を後枠取付金具で挟み、【8-3】で取付けてください。



2 すき間ふさぎ部品の取付け

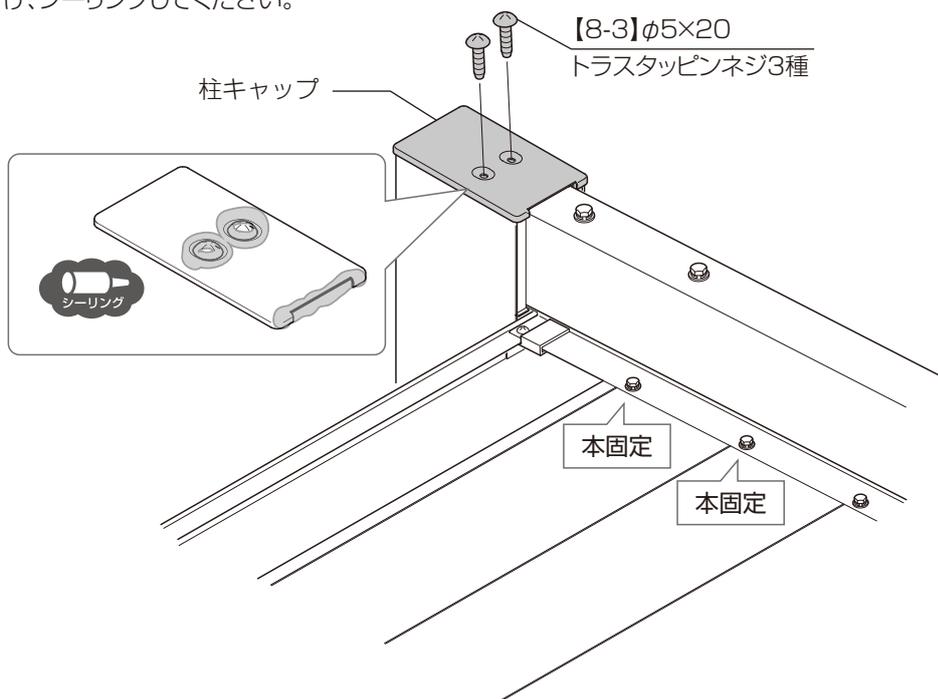
- ①すき間ふさぎ部品(排水)を奥まで差し込んでください。

●柱(排水側)



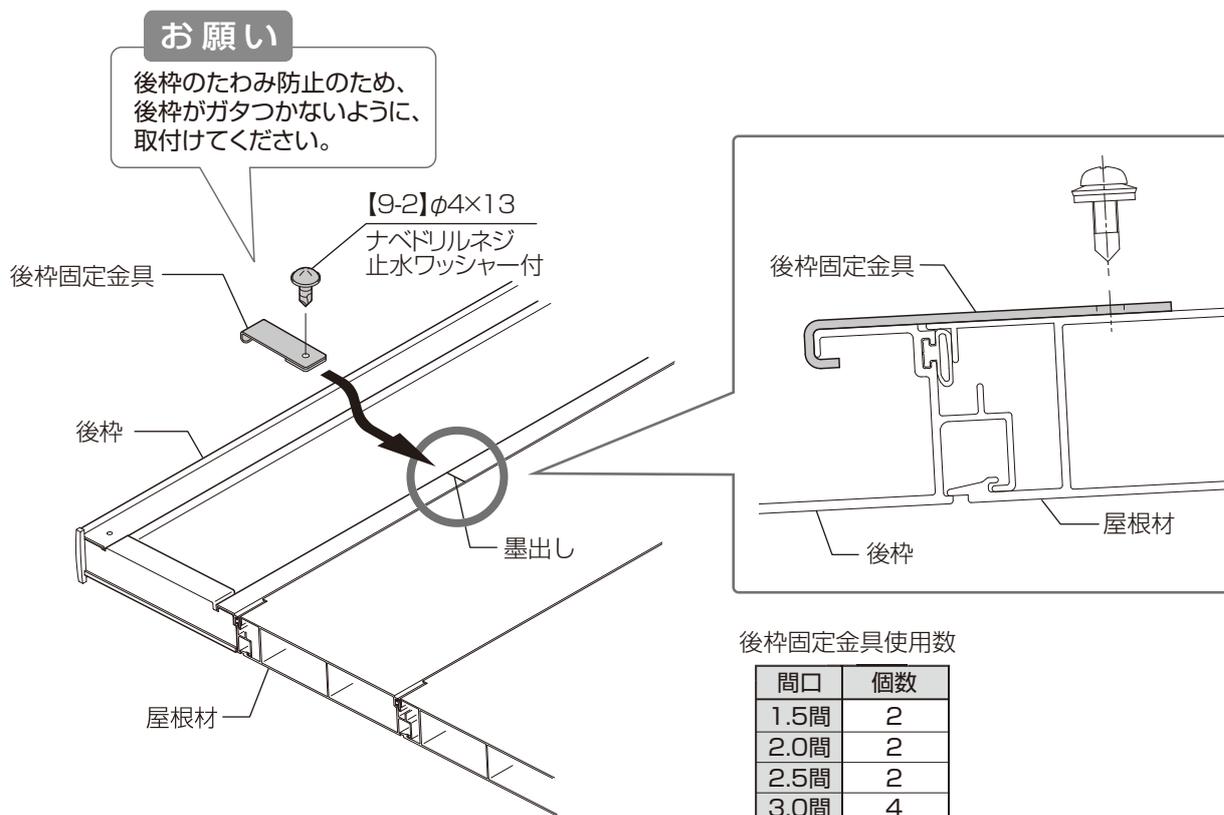
3 柱キャップの取付け

- ① **7**③までに仮固定したボルトを本固定してください。
- ②柱キャップを【8-3】で取付け、シーリングしてください。

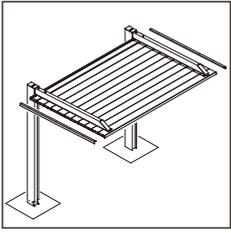


4 後枠固定金具の取付け

- ①後枠固定金具を **4**② (P.18) でつけた枠の墨出し位置に【9-2】で取付けてください。



9 側枠の取付け

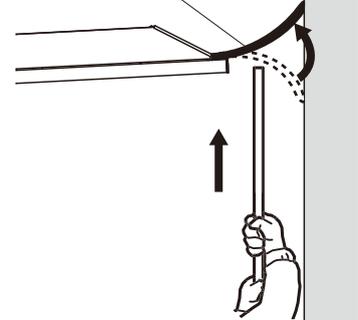


- ①前枠・屋根材の切欠き部・端部と後枠コーナーキャップ上部にシーリングしてしてください。
- ②水下ブロックと一緒に側枠を【9-2】で取付けてください。
- ③前枠コーナーキャップと側枠の隙間にシーリングしてしてください。
- ④後枠と側枠の隙間にシーリングしてしてください。

補足

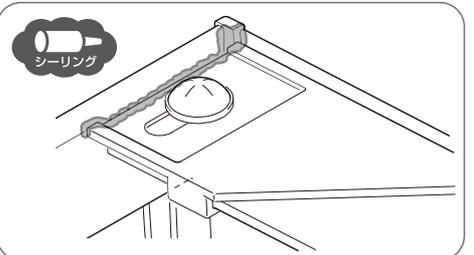
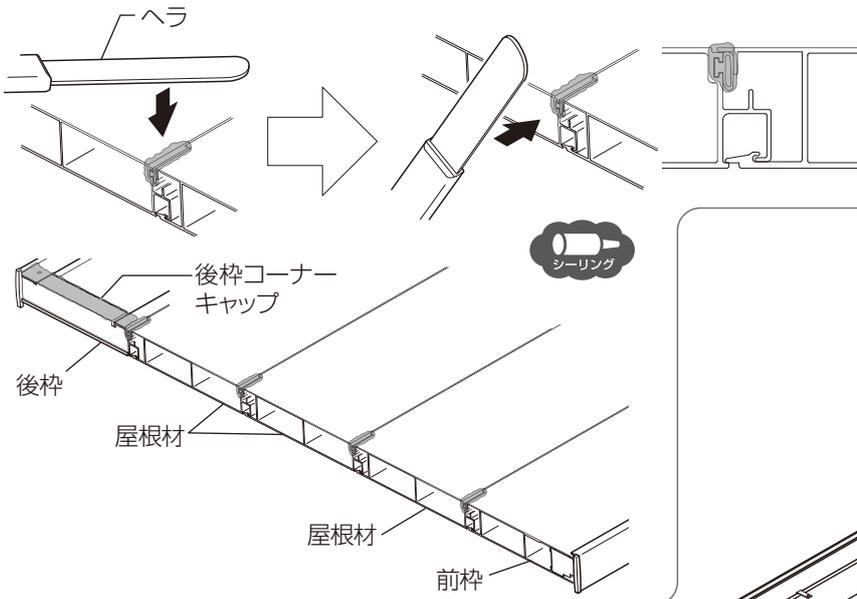
すき間ふさぎ材を取付ける場合すき間ふさぎ材を下から押し上げ、側枠を取付けてください。

躯体すき間ふさぎ材

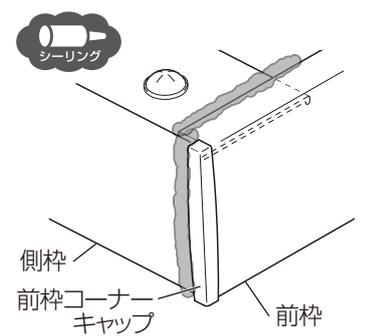
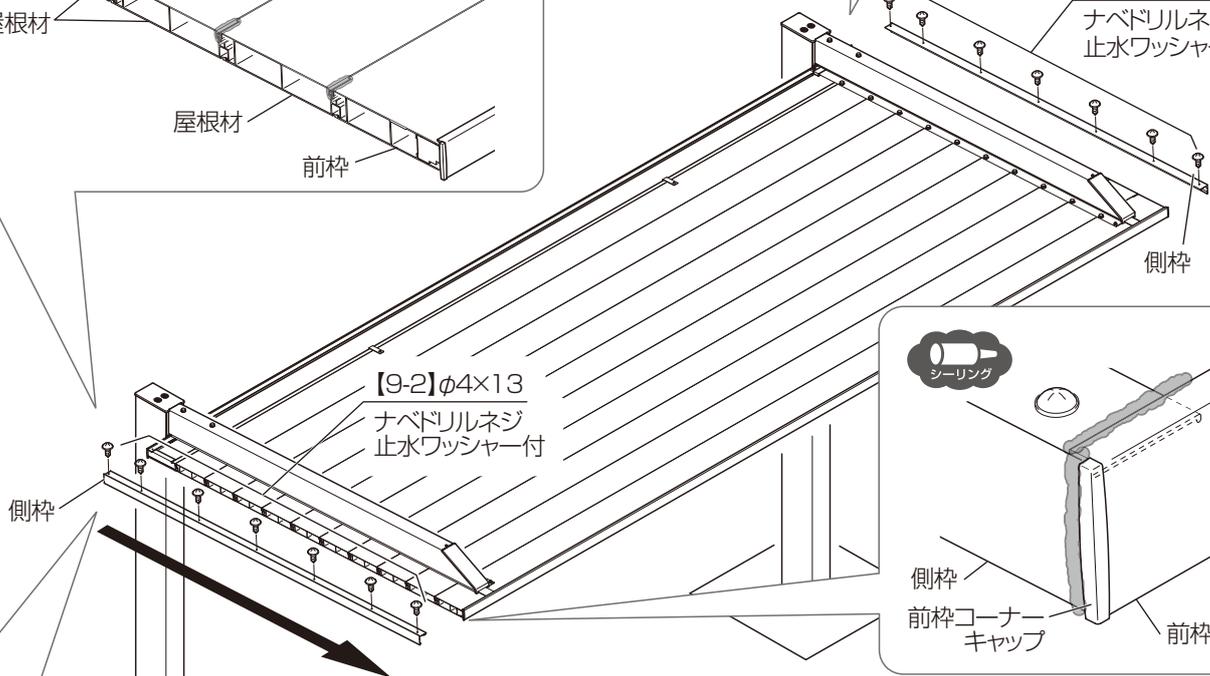


お願い

シーリングはヘラ等で押えて密着させてください。



【9-2】φ4×13
ナベドリルネジ
止水ワッシャー付



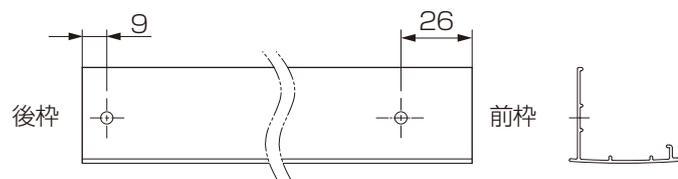
【9-2】φ4×13
ナベドリルネジ
止水ワッシャー付

水下ブロック

後枠

後枠
コーナーキャップ

側枠

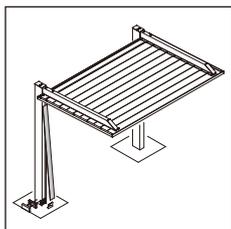


補足

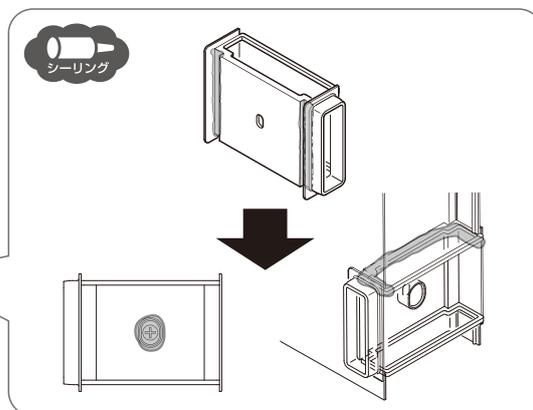
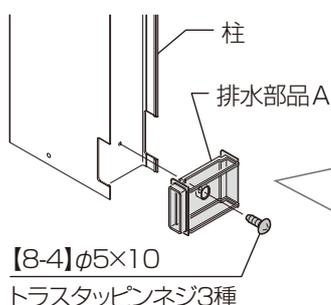
後枠の加工穴を基準に前枠に向かって取付けてください。

側枠には右用/左用があります。向きに注意してください。

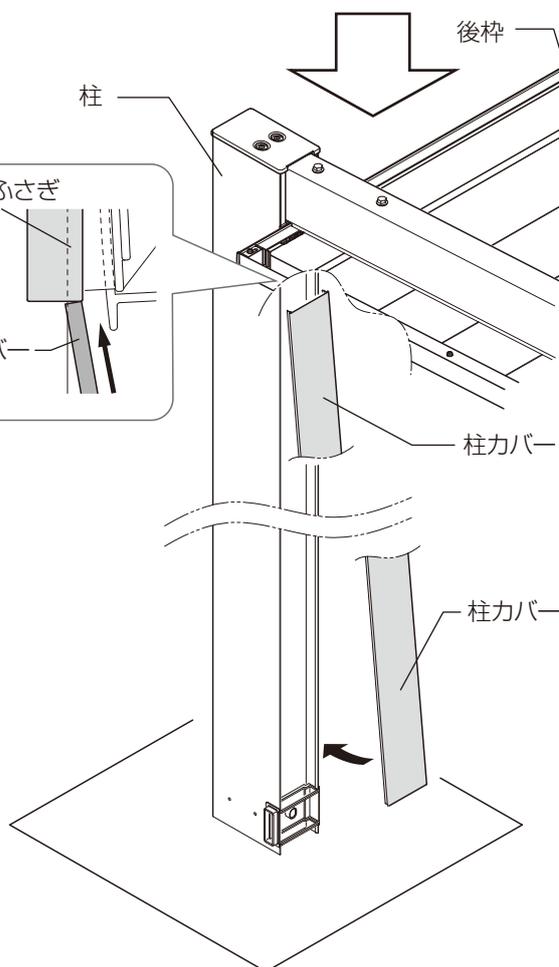
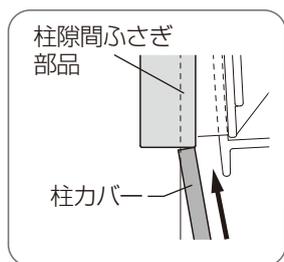
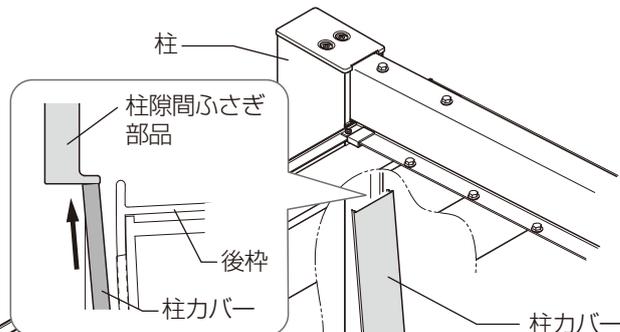
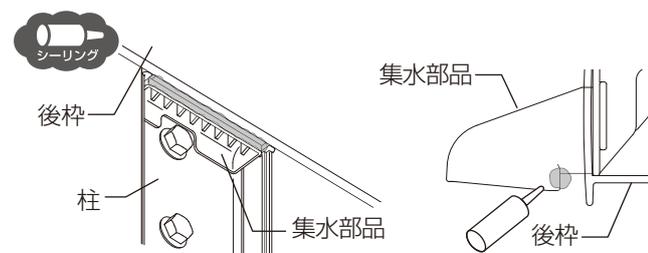
10 柱カバー・排水部品の取付け



- ①排水部品Aの背面にシーリングし、柱に【8-4】で取付けてください。
- ②排水部品Aのネジ頭および上部にシーリングしてください。
- ③集水部品下部にシーリングしてください。
- ④柱カバーを後枠と柱の隙間に差し込み、柱にはめ込んでください。

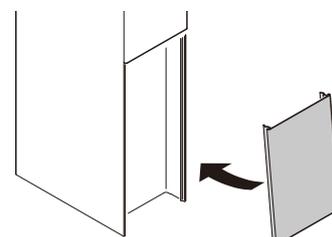


柱カバーを取付ける前に、集水部品にシーリングしてください。
 ※排水を柱カバーへ誘導できなくなり、柱内部へ落ちる雨音が鳴るおそれがあります。



下記のオプションを取付ける場合は、対応した取付説明書を併せて参照してください。

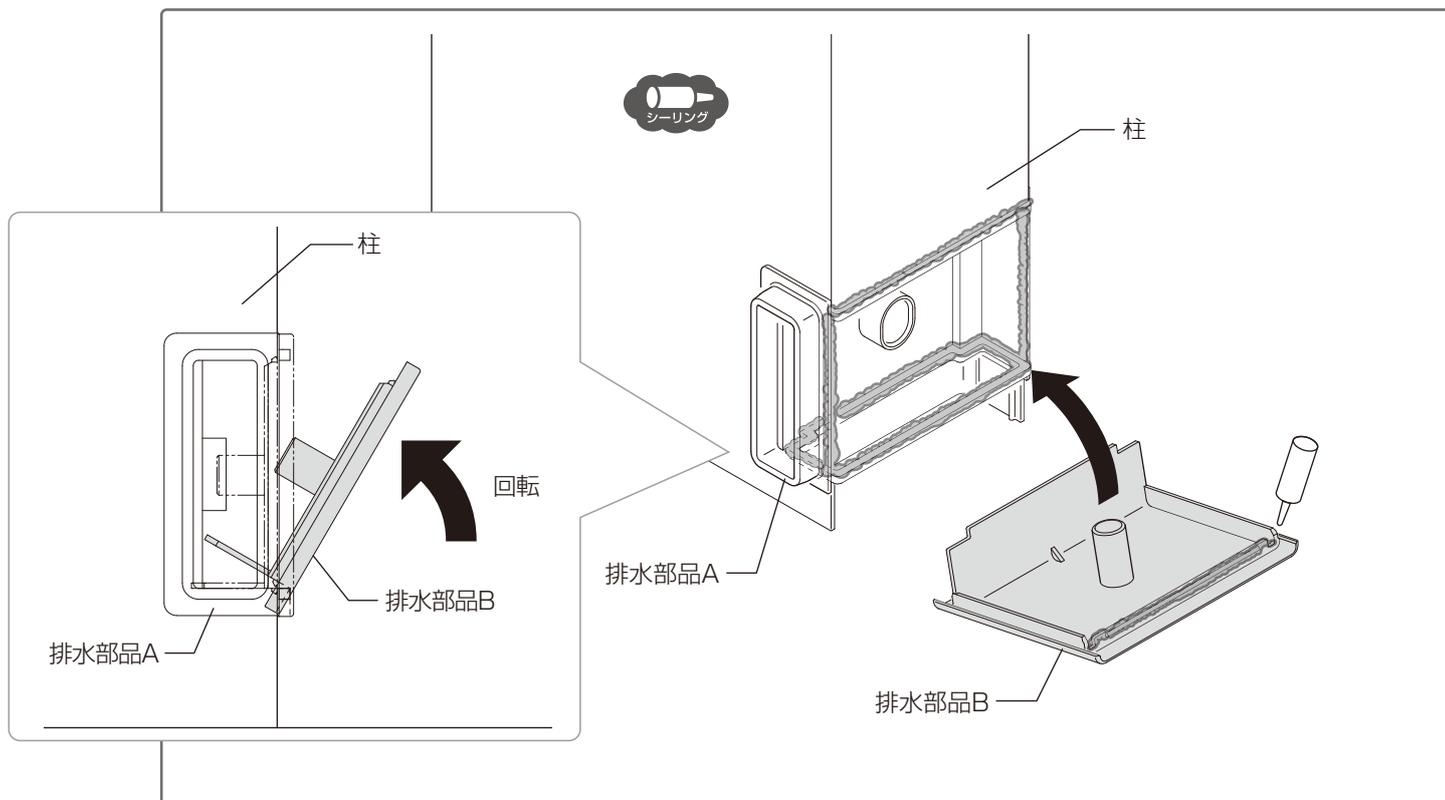
「テラス(デッキ接続) 取付説明書(N007)」



10 柱カバー・排水部品の取付け（つづき）

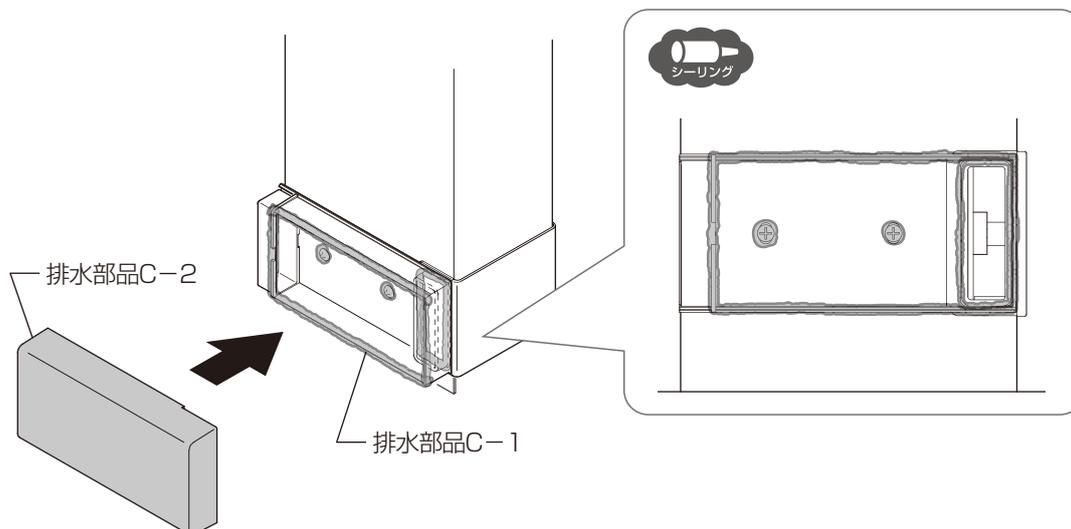
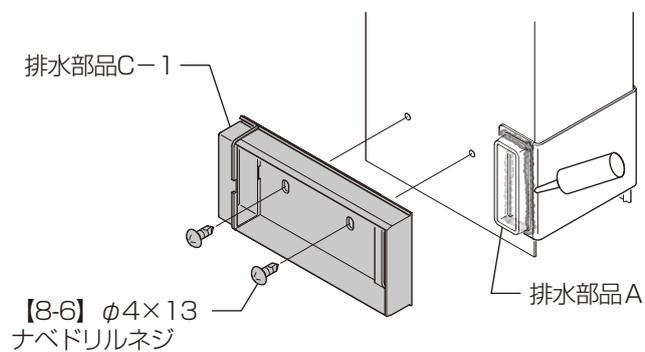
⑤排水部品Aと柱カバーの接合部、および排水部品Aの内側にシーリングしてください。

⑥排水部品Bにシーリングをし、排水部品Bを排水部品Aに取付けてください。



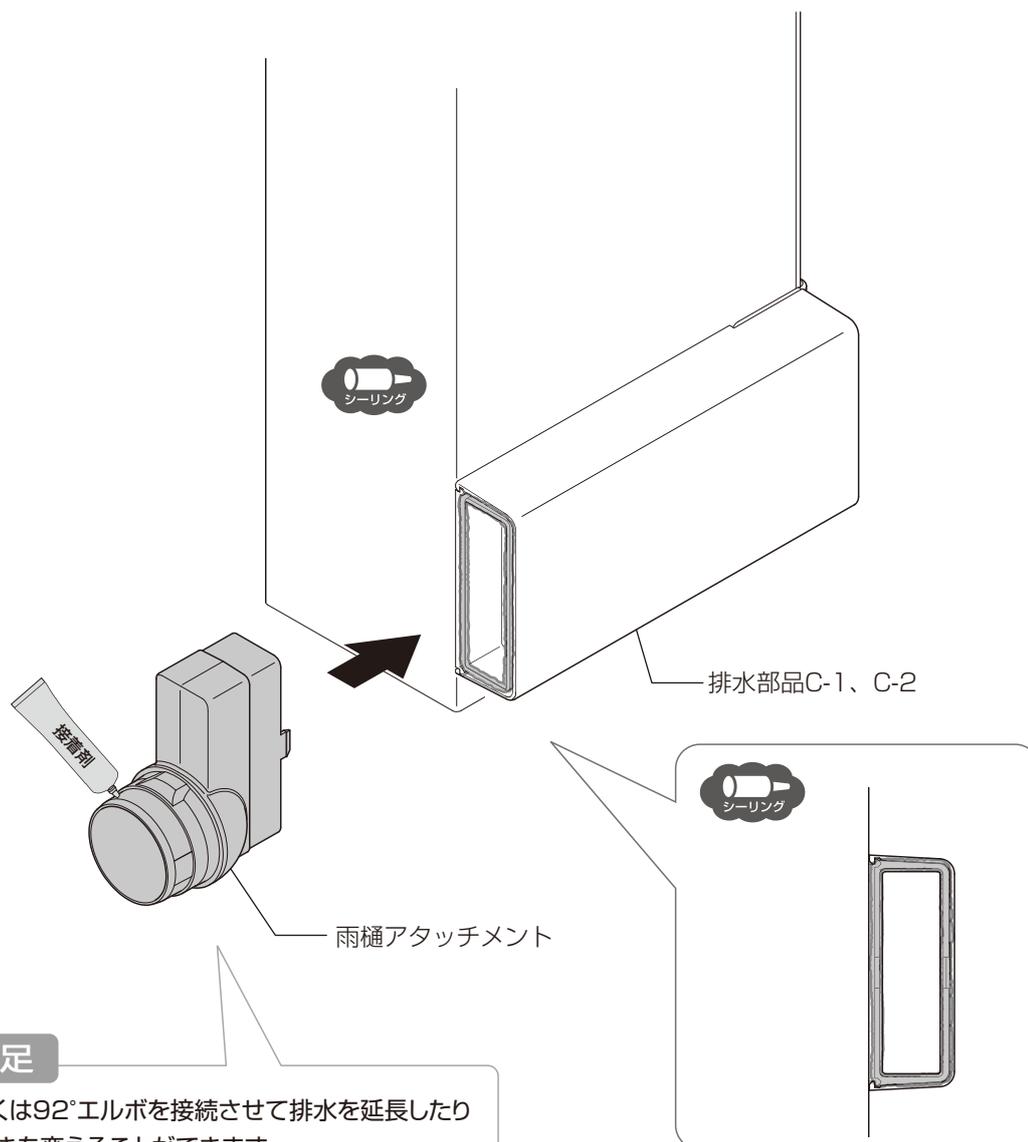
⑦排水部品Aにシーリングをして、排水部品C-1を【8-6】で取付けてください。

⑧排水部品C-1にシーリングをし、排水部品C-2を排水部品C-1に取付けてください。



□ 雨樋アタッチメントの取付け

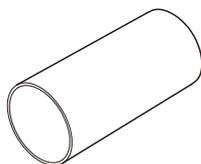
①排水部品C-1、C-2の排水口にシーリングし、雨樋アタッチメントを取付けてください。



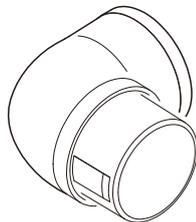
補足

丸樋もしくは92°エルボを接続させて排水を延長したり排水の向きを変えることができます。

丸樋 (φ40)



92° エルボ



連棟タイプの施工



【連棟】の場合の作業です。

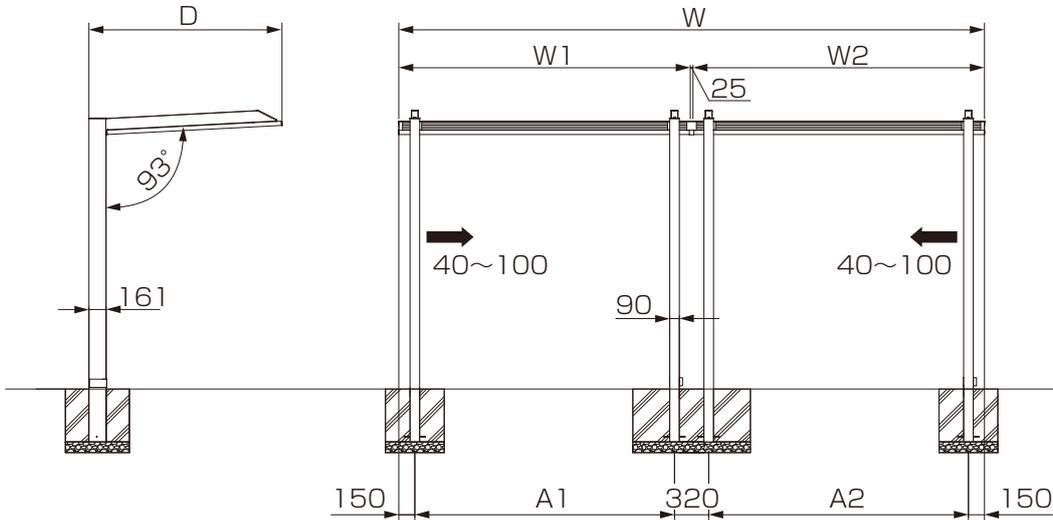
連棟の確認事項

□ 姿図

お願い

注意・お願いはP.12を確認してください。

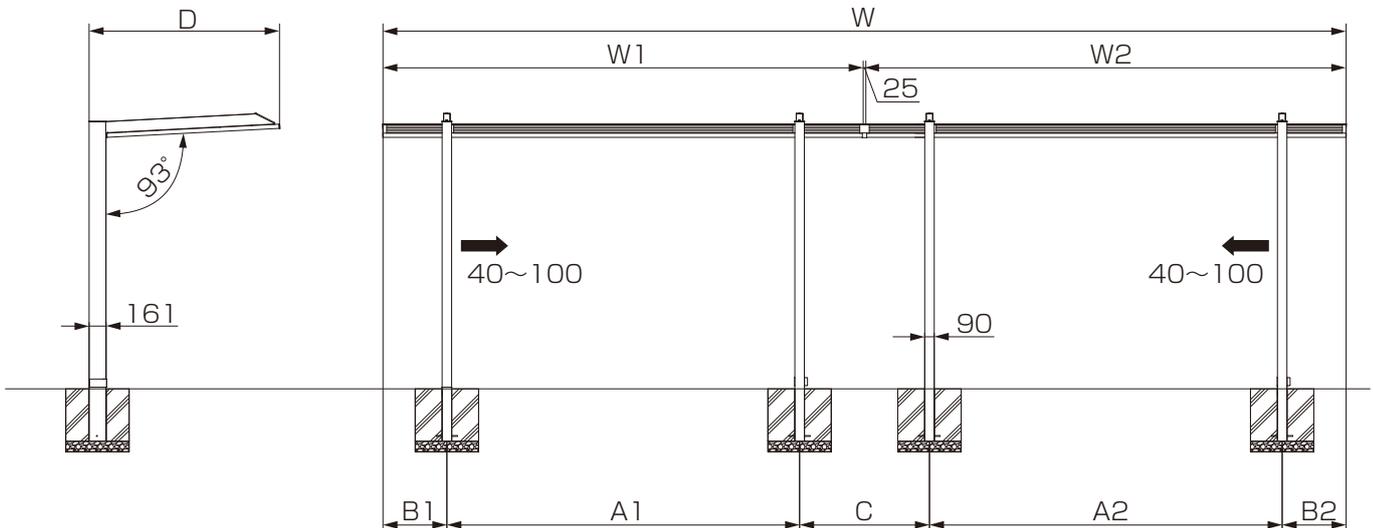
1.5間、2.0間



出幅	D
4R	1208
5R	1505
6R	1803
7R	2101

		A1	A2	W1	W2	W
間口	1.5間+1.5間	2430	2430	2727.5	2727.5	5480
	1.5間+2.0間	2430	3340	2727.5	3637.5	6390
	2.0間+2.0間	3340	3340	3637.5	3637.5	7300

2.5間、3.0間

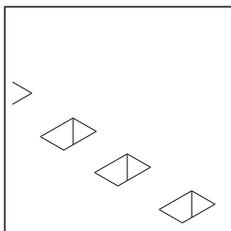


出幅	D
4R	1208
5R	1505
6R	1803
7R	2101

※3.0間7尺の設定はありません。

		A1	A2	W1	W2	W	B1	B2	C
間口	1.5間+2.5間	2430	3340	2727.5	4547.5	7300	150	605	775
	1.5間+3.0間	2430	3340	2727.5	5457.5	8210	150	1060	1230
	2.0間+2.5間	3340	3340	3637.5	4547.5	8210	150	605	775
	2.0間+3.0間	3340	3340	3637.5	5457.5	9120	150	1060	1230
	2.5間+2.5間	3340	3340	4547.5	4547.5	9120	605	605	1230
	2.5間+3.0間	3340	3340	4547.5	5457.5	10030	605	1060	1685
	3.0間+3.0間	3340	3340	5457.5	5457.5	10940	1060	1060	2140

□ 基礎の墨出し



P.15 【通常基礎の基礎寸法数値について】
通常基礎の基礎寸法は『P.15』を
参照してください。



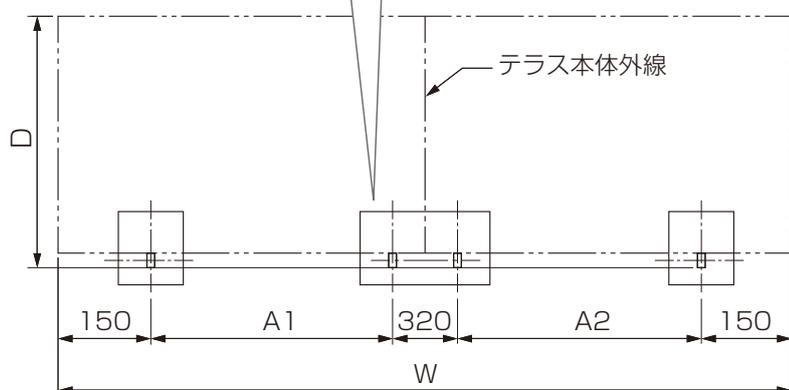
下記のオプションを取付ける場合は、対応した
取付説明書を併せて参照してください。

「SC テラスSC 照明 取付説明書(N006)」

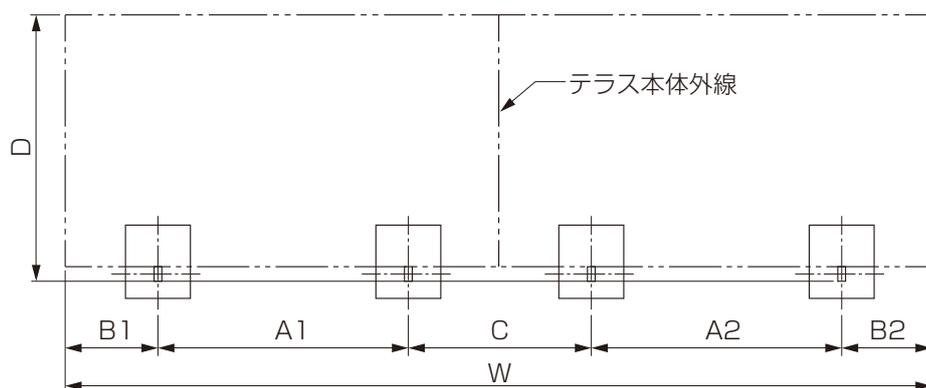
■ 1.5間、2.0間

お願い

連結部の基礎寸法は、次ページを参照ください。



■ 2.5間、3.0間

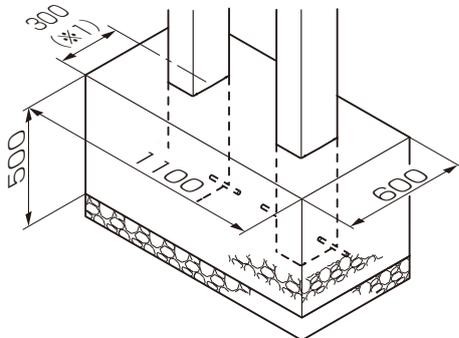


P.35 A1・A2・B1・B2・C・D寸法は、
P.35を参照してください。

■基礎寸法の確認（連結部）



【独立基礎仕上げ】の場合の作業です。



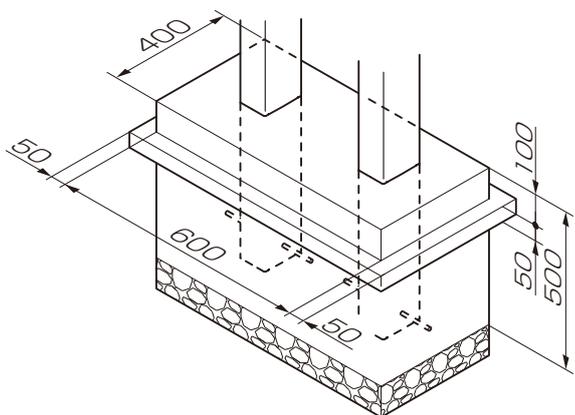
【通常基礎の基礎寸法数値について】
通常基礎の基礎寸法は『P.15』を
参照してください。

補 足

(※1) は柱芯から基礎端面までの寸法です。

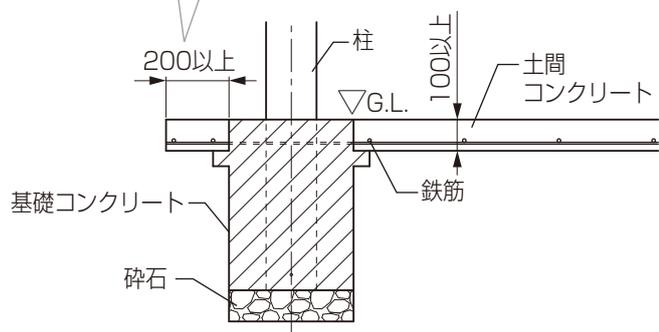


【土間コンクリート仕上げ基礎】の場合の作業です。



お 願 い

基礎上面と土間コンクリートの縁端距離は200mm以上になるようにしてください。



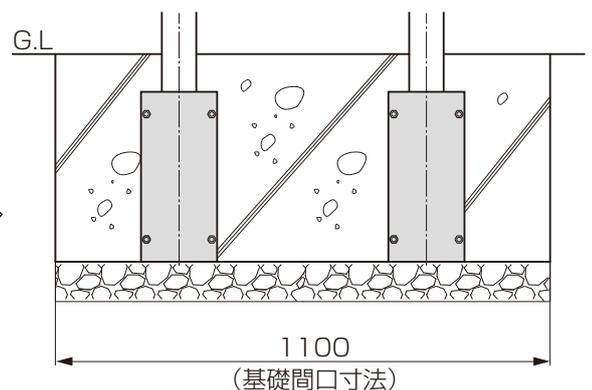
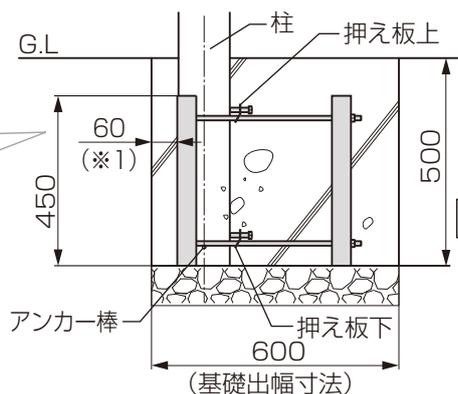
【偏心基礎部材】を取付ける場合の作業です。



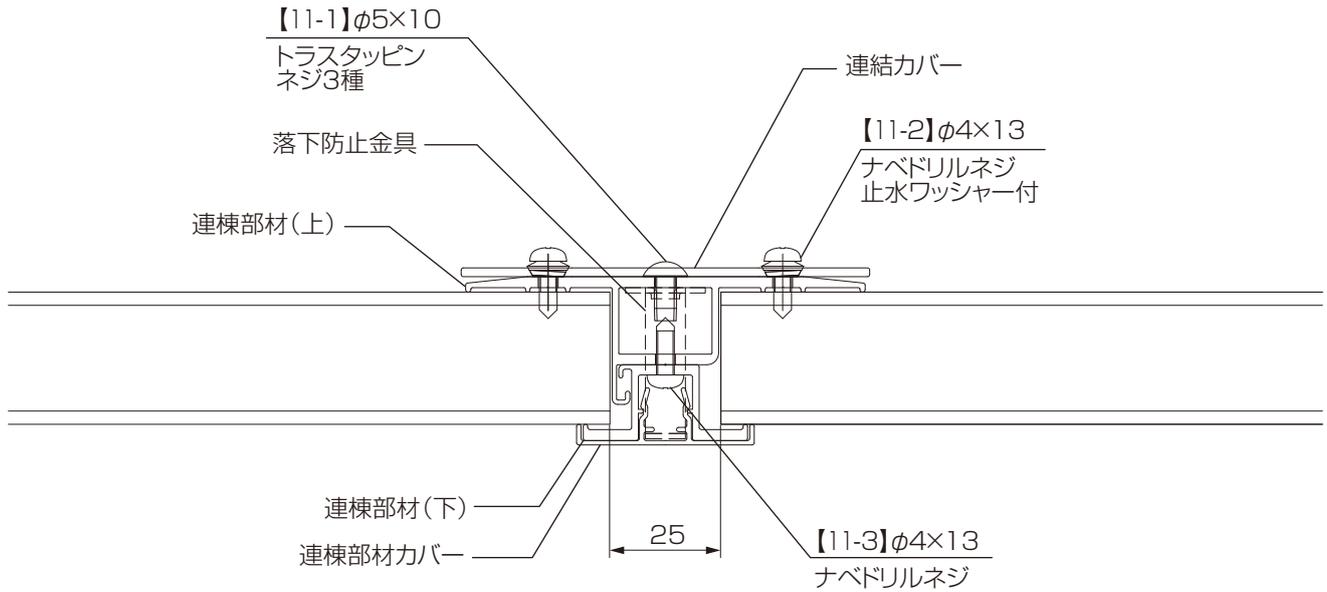
組立て方法、基礎寸法については
【偏心基礎部材 取付説明書 (D349)】も参照してください。

補 足

※1はタテ材Aの
外面から基礎端面
の寸法です。



●連棟 間口方向



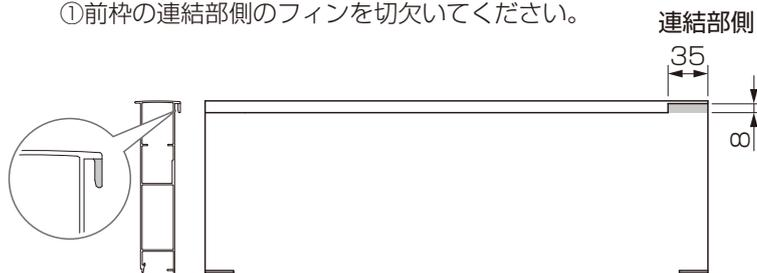
□ 施工の流れ

柱の建て込み準備	柱の建て込み	事前準備	1 事前準備
<p>P.16 基本タイプ P.16を事前に確認してください。</p>	<p>P.17 基本タイプ P.17を事前に確認してください。</p>	<p>P.18 基本タイプ P.18を事前に確認してください。</p>	<p>P.39 P.39を参照してください。基本タイプ P.18も事前に確認してください。</p>
<p>ブラケットと梁の取付け</p> <p>P.22 基本タイプ P.22を事前に確認してください。</p> <p>躯体側</p>	<p>2 屋根部(1台目)の取付け</p> <p>P.24~P.40を参照してください。基本タイプ P.24~も事前に確認してください。</p> <p>躯体側</p>	<p>3 前枠(2台目)の取付け</p> <p>P.24 P.40を参照してください。基本タイプ P.24も事前に確認してください。</p> <p>躯体側</p>	<p>4 連棟部材(上)の取付け</p> <p>P.40を参照してください。</p> <p>躯体側</p>
<p>5 屋根部(2台目)の取付け</p> <p>P.26 P.46を参照してください。基本タイプ P.26~も事前に確認してください。</p> <p>躯体側</p>	<p>6 連棟部材の取付け</p> <p>P.47を参照してください。</p> <p>躯体側</p>		

1 事前準備

1 前枠の加工

①前枠の連結部側のフィンを切欠いてください。



お願い

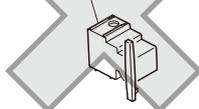
1台目と2台目では切欠きが対称になりますのでご注意ください。



お願い

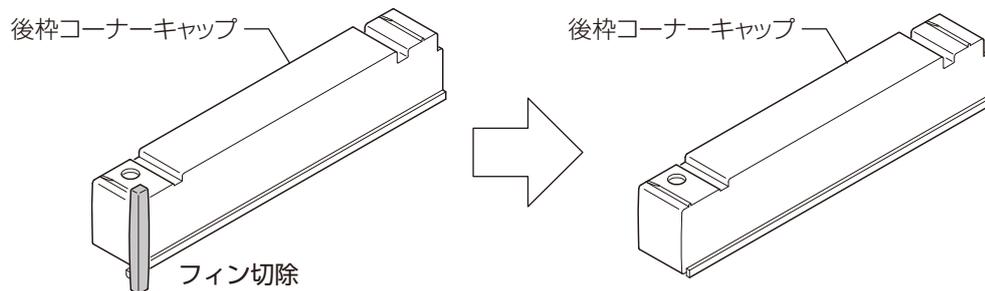
前枠コーナーキャップは、連結部には取付けないでください。

前枠コーナーキャップ

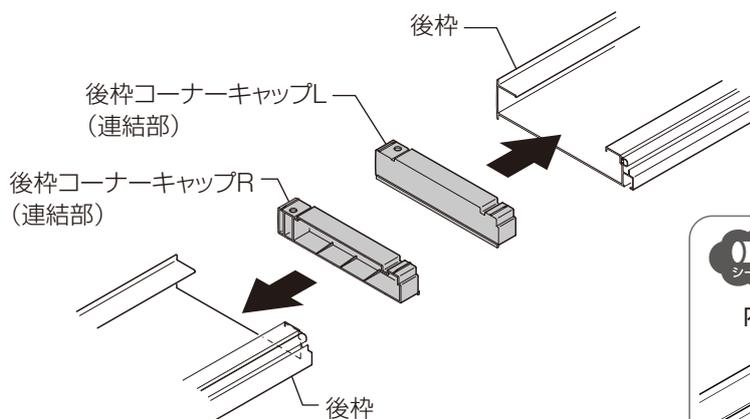


2 後枠への部品の取付け

①連結部に取付ける後枠コーナーキャップL、Rのフィンを切除してください。

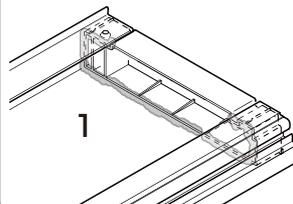


②連結部の後枠コーナーキャップを取付けてシーリングしてください。

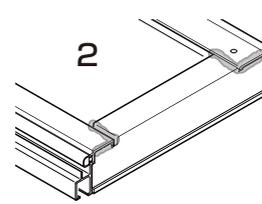


1、2の順にシーリングしてください。

内側から見る



外側から見る



2 屋根部(1台目)の取付け



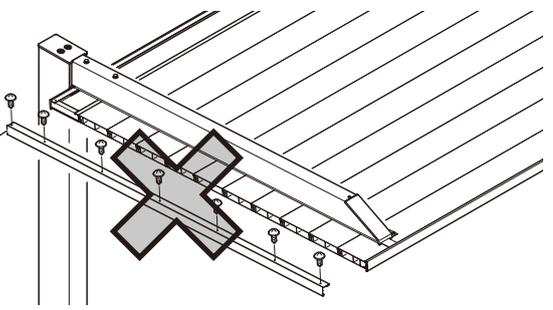
基本タイプの施工 P.24~を参照してください。

①基本タイプ **6** ~ **9** の施工方法を参照して取付けてください。

お願い

側枠は、連結部には
取付けないでください。

側枠

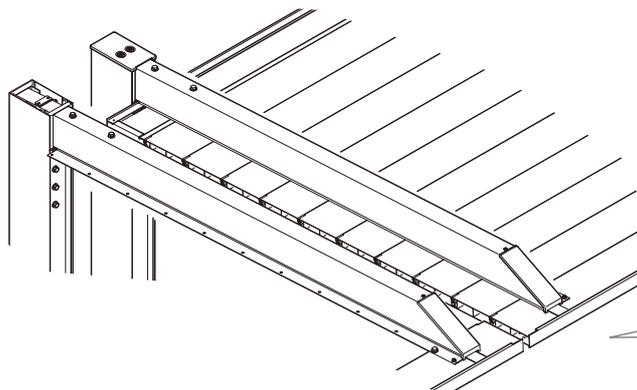


3 前枠(2台目)の取付け



基本タイプの施工 P.24を参照してください。

①基本タイプ **6** の施工方法を参照して取付けてください。



補足

1台目と2台目の枠どうしの隙間は
25mmです。

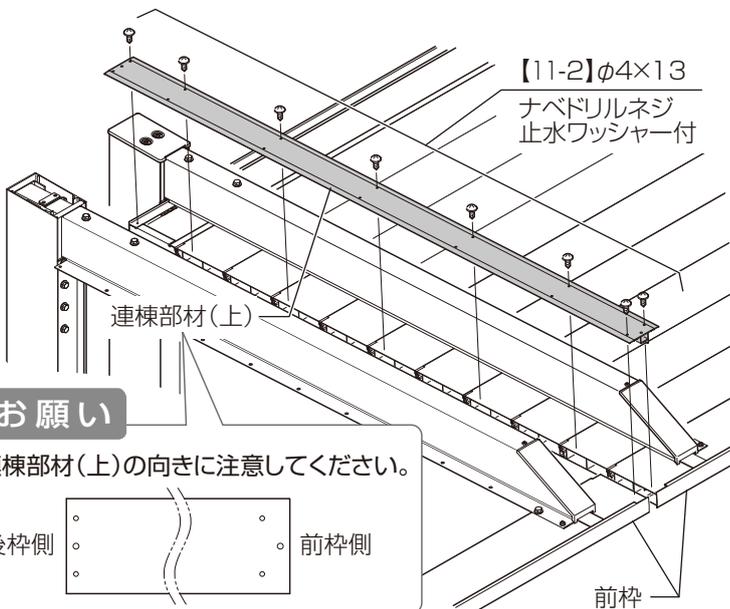


4 連棟部材(上)の取付け

①連結部に連棟部材(上)を【11-2】で取付けてください。

補足

後枠側の加工穴を基準に取付けてください。



お願い

連棟部材(上)の向きに注意してください。

後枠側

前枠側

前枠

後枠

屋根材

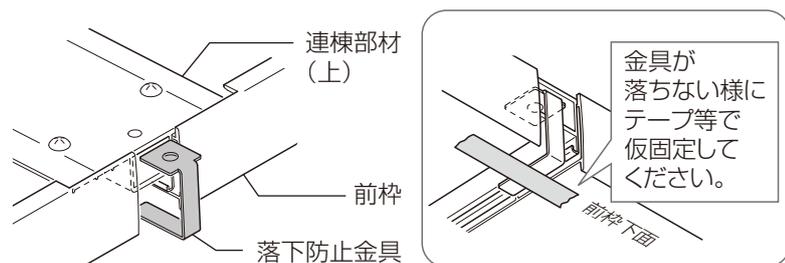
屋根材

シーリング

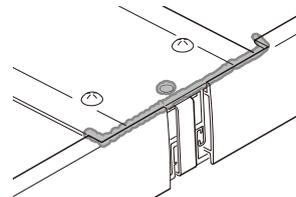
前枠

4 連棟部材(上)の取付け (つづき)

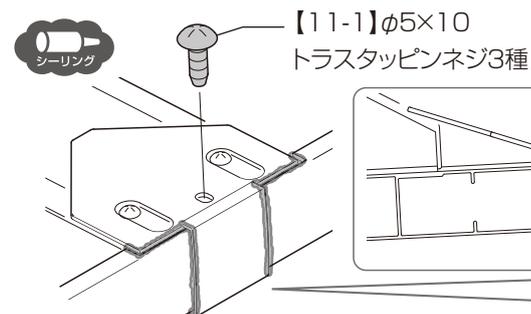
②落下防止金具を連棟部材に差込んでください。



③連棟部材(上)の端部と加工穴にシーリングをしてください。

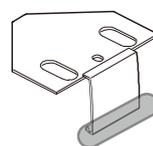


④連結カバーを【11-1】で取付けてシーリングをしてください。



お願い

下図で囲った部分にはシーリングをしないでください。



【すき間ふさぎ材】を取付ける場合の作業です。

取付概要 (すき間ふさぎ材)

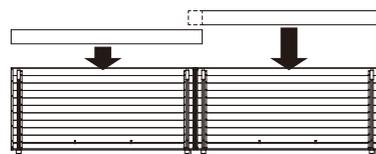
パターンA：2台目のすき間ふさぎ材は本体より1サイズ大きいものをカットして取付けます。

パターンB：1台目のすき間ふさぎ材は本体より1サイズ大きいものをカットして取付けます。

パターンC：各3.0間用すき間ふさぎ材をカットせず、連棟部へ寄せて取付けます。

【パターンA】

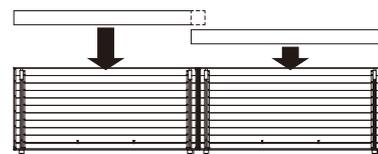
2台目のすき間ふさぎ材をカット



(1台目) (2台目)

【パターンB】

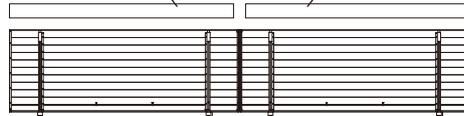
1台目のすき間ふさぎ材をカット



(1台目) (2台目)

【パターンC】

3.0間用すき間ふさぎ材を連棟部へ寄せる
3.0間用 ← → 3.0間用



(1台目 3.0間) (2台目 3.0間)

1 事前準備 (すき間ふさぎ材)

本体サイズごとの加工パターンを右表で確認してください。

パターンによりすき間ふさぎ材、すき間ふさぎ取付材、前枠への加工が変わります。

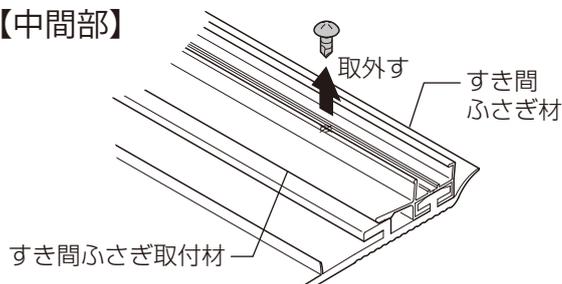
①中間部に取付けているネジを外し、

すき間ふさぎ材をすき間ふさぎ取付材から外してください。

加工パターン

		2台目			
		1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
1台目	1.5間	パターンA			パターンB
	2.0間				
	2.5間				
	3.0間				パターンC

【中間部】





【すき間ふさぎ材】を取付ける場合の作業です。

1 事前準備（すき間ふさぎ材）（つづき）

②すき間ふさぎ材の切断、切欠き加工、すき間ふさぎ取付材の切断・穴加工をしてください。

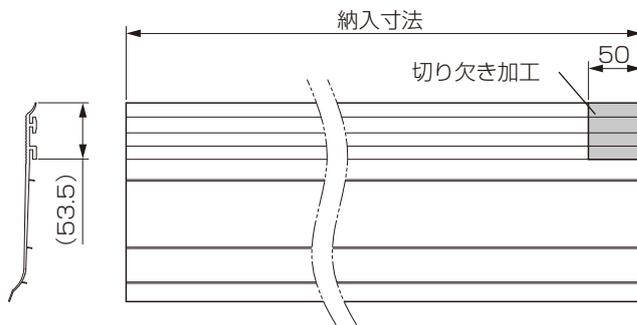
お願い



P.41の加工パターンを事前に確認してください。

【パターンA】

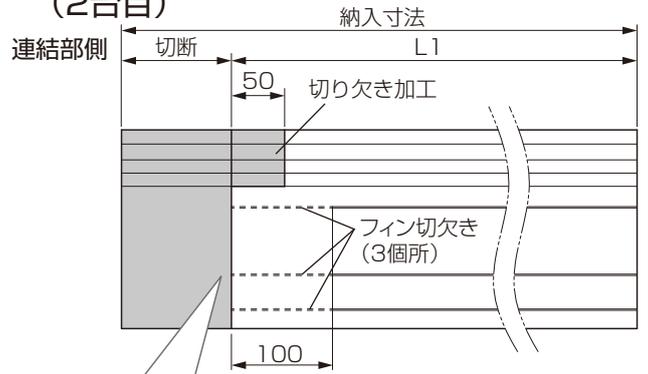
●すき間ふさぎ材 （1台目）



補足

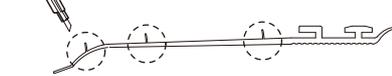
2台目は本体より1サイズ大きい躯体すき間ふさぎ材セットを使用します。

（2台目）



カッターなどで連結部側のフィンを切欠いてください。

拡大図



		1台目				2台目		
本体間口サイズ		1.5間	2.0間	2.5間	3.0間	1.5間	2.0間	2.5間
躯体すき間ふさぎ材セット 間口サイズ		1.5間	2.0間	2.5間	3.0間	2.0間	2.5間	3.0間
すき間ふさぎ材	納入寸法	2660	3570	4480	5390	3570	4480	5390
	L1	-	-	-	-	2850	3760	4670

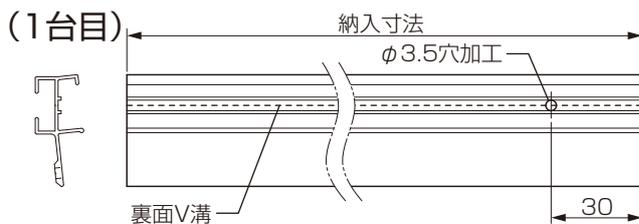
補足

すき間ふさぎ材重なり部の浮きを小さくするための処理です。

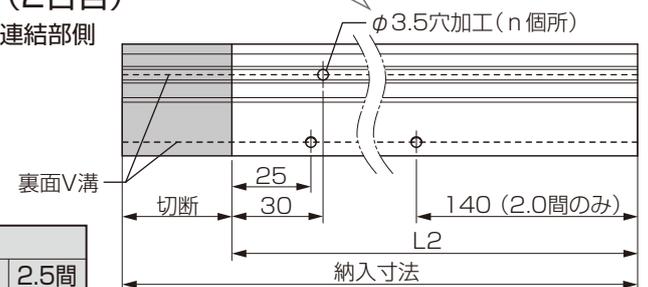


納まりについては、P.45も確認してください。

●すき間ふさぎ取付材



（2台目） 連結部側



補足

間口サイズにより、既存の穴での固定が可能であるため、穴加工数に違いがあります。

		1台目				2台目		
本体間口サイズ		1.5間	2.0間	2.5間	3.0間	1.5間	2.0間	2.5間
躯体すき間ふさぎ材セット 間口サイズ		1.5間	2.0間	2.5間	3.0間	2.0間	2.5間	3.0間
すき間ふさぎ 取付け材	納入寸法	2518	3428	4338	5248	3428	4338	5248
	L2	-	-	-	-	2584	3494	4404
	n	-	-	-	-	2	3	1



柱移動する場合は、P.20を確認し、加工位置を変更してください。



【すき間ふさぎ材】を取付ける場合の作業です。

1 事前準備 (すき間ふさぎ材) (つづき)

お願い



P.41の加工パターンを事前に確認してください。

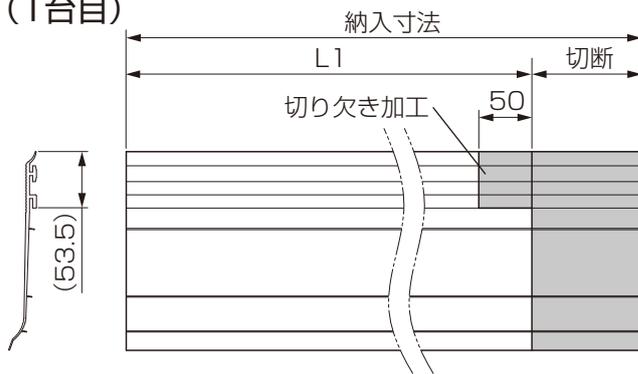
【パターンB】

●すき間ふさぎ材

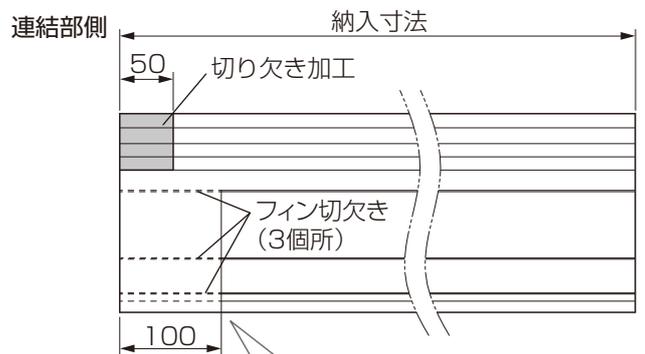
補足

1台目は本体より1サイズ大きい躯体すき間ふさぎ材セットを使用します。

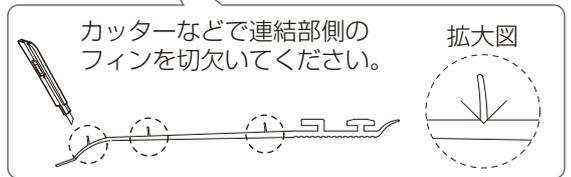
(1台目)



(2台目)



		1台目			2台目
本体間口サイズ		1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
躯体すき間ふさぎ材セット間口サイズ		2.0間	2.5間	3.0間	3.0間
すき間ふさぎ材	納入寸法	3570	4480	5390	5390
	L1	2850	3760	4670	—

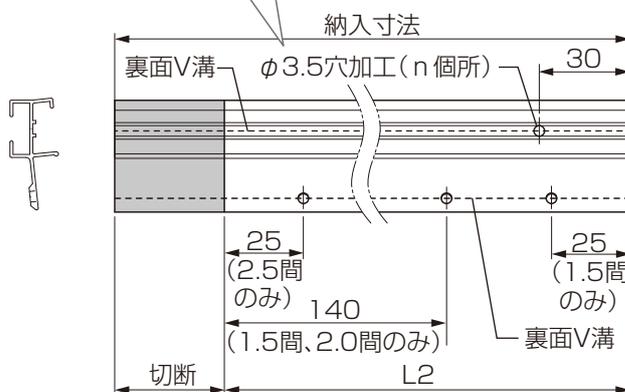


●すき間ふさぎ取付材

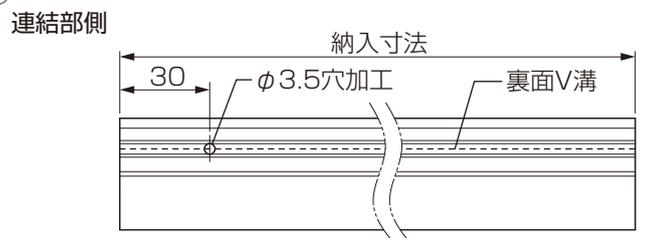
補足

間口サイズにより、既存の穴での固定が可能であるため、穴加工数に違いがあります。

(1台目)



(2台目)



補足

すき間ふさぎ材重なり部の浮きを小さくするための処理です。



納まりについては、P.45も確認してください。



柱移動する場合は、P.20を確認し、加工位置を変更してください。

		1台目			2台目
本体間口サイズ		1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
躯体すき間ふさぎ材セット間口サイズ		2.0間	2.5間	3.0間	3.0間
すき間ふさぎ取付材	納入寸法	3428	4338	5248	5248
	L2	2584	3494	4404	—
	n	3	2	2	—



【すき間ふさぎ材】を取付ける場合の作業です。

1 事前準備 (すき間ふさぎ材) (つづき)

お願い

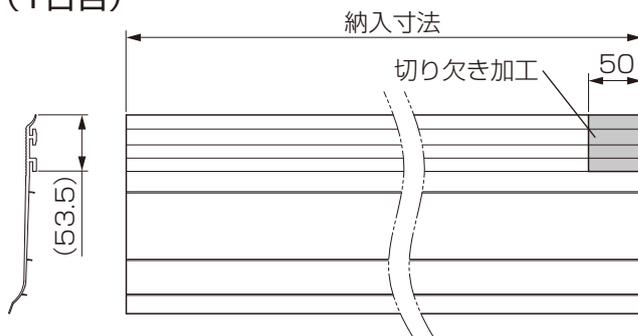


P.41の加工パターンを事前に確認してください。

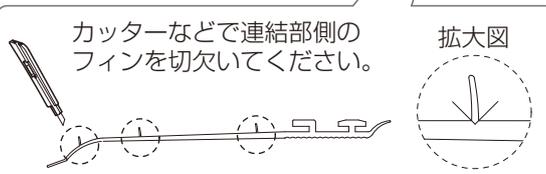
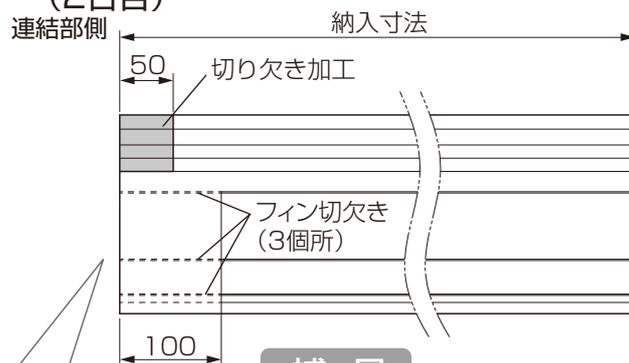
【パターンC】

●すき間ふさぎ材

(1台目)



(2台目)



補足

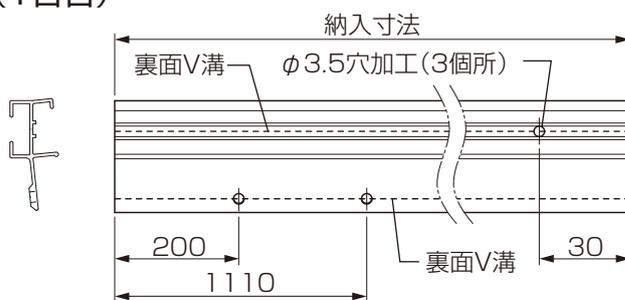
すき間ふさぎ材重なり部の浮きを小さくするための処理です。



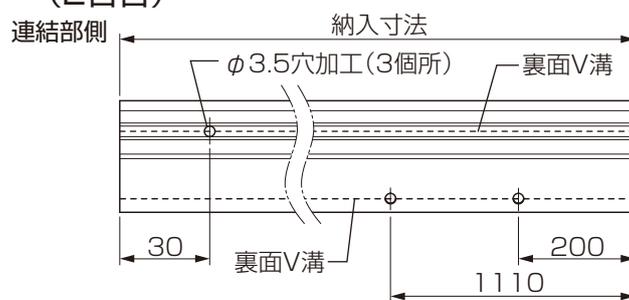
納まりについては、P.45も確認してください。

●すき間ふさぎ取付材

(1台目)

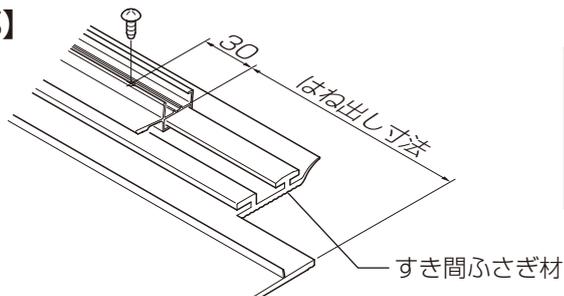


(2台目)



③①で取外したネジを取付けてください。

【連結側端部】



加工パターン	はね出し寸法	
	1台目	2台目
パターンA	71	195
パターンB	195	71
パターンC	100	100

④基本タイプP.24の施工方法を参照して、すき間ふさぎ材取付金具を取付けてください。

お願い

すき間ふさぎ材を取付ける場合、追加加工した穴の近くに、既存の穴がある場合があります。追加加工した穴にすき間ふさぎ材取付金具を取付けてください。



【すき間ふさぎ材】を取付ける場合の作業です。

●前枠

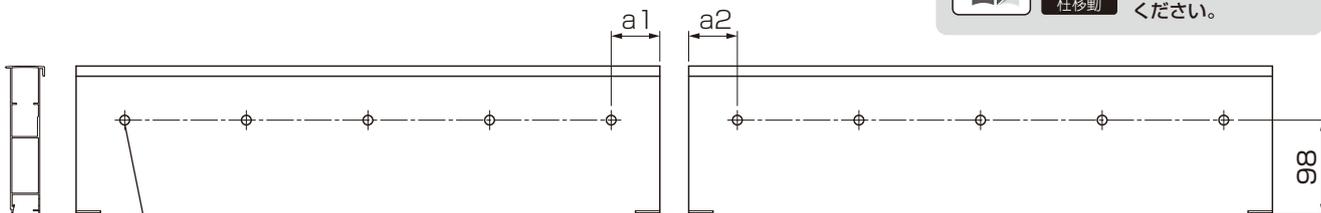
①すき間ふさぎ材取付金具を写し穴にして、φ3.5の下穴を加工してください。

(1台目)

(2台目)



柱移動する場合は、P.20を確認し、加工位置を変更してください。



φ3.5下穴

- (1.5間：4箇所)
- (2.0間：5箇所)
- (2.5間：6箇所)
- (3.0間：7箇所)

補足

すき間ふさぎ材取付金具を取付けるための処理です。



すき間ふさぎ材取付金具については、P.24も確認してください。



■a1,a2寸法

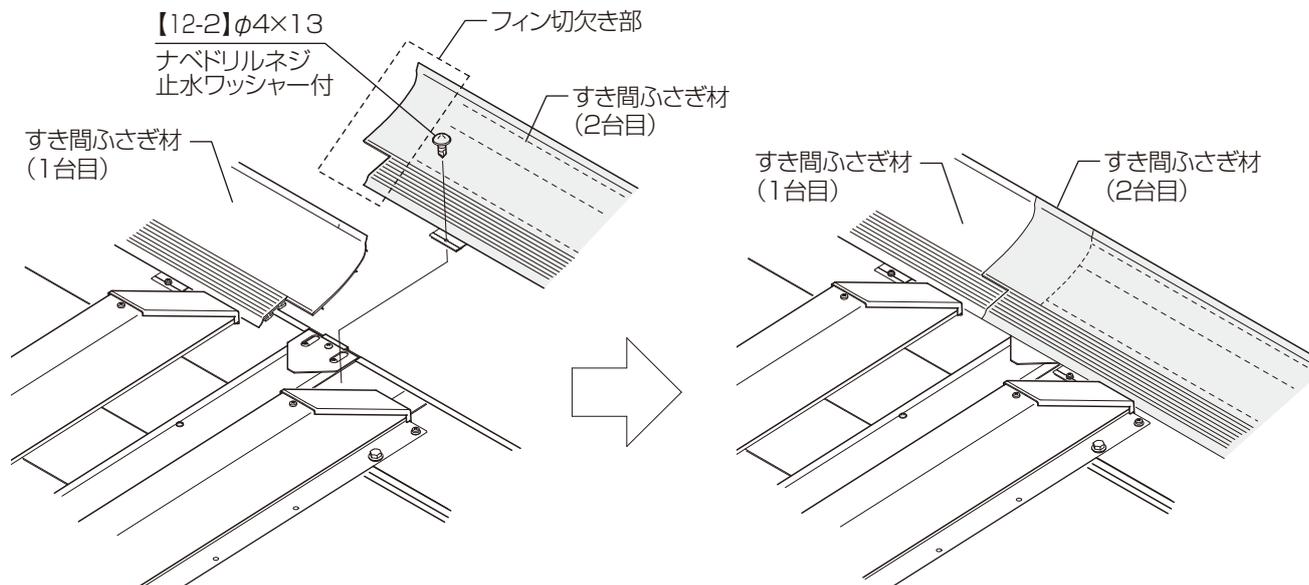
		2台目							
		1.5間		2.0間		2.5間		3.0間	
		a1	a2	a1	a2	a1	a2	a1	a2
1台目	1.5間	243.5	62.5	243.5	62.5	243.5	62.5	62.5	128.5
	2.0間	243.5	62.5	243.5	62.5	243.5	62.5	62.5	128.5
	2.5間	128.5	62.5	128.5	62.5	128.5	62.5	62.5	128.5
	3.0間	128.5	62.5	128.5	62.5	128.5	62.5	62.5	62.5

【例】1台目：2.0間 2台目：1.5間の場合

a1 = 243.5 a2 = 62.5

2 すき間ふさぎ材の取付け

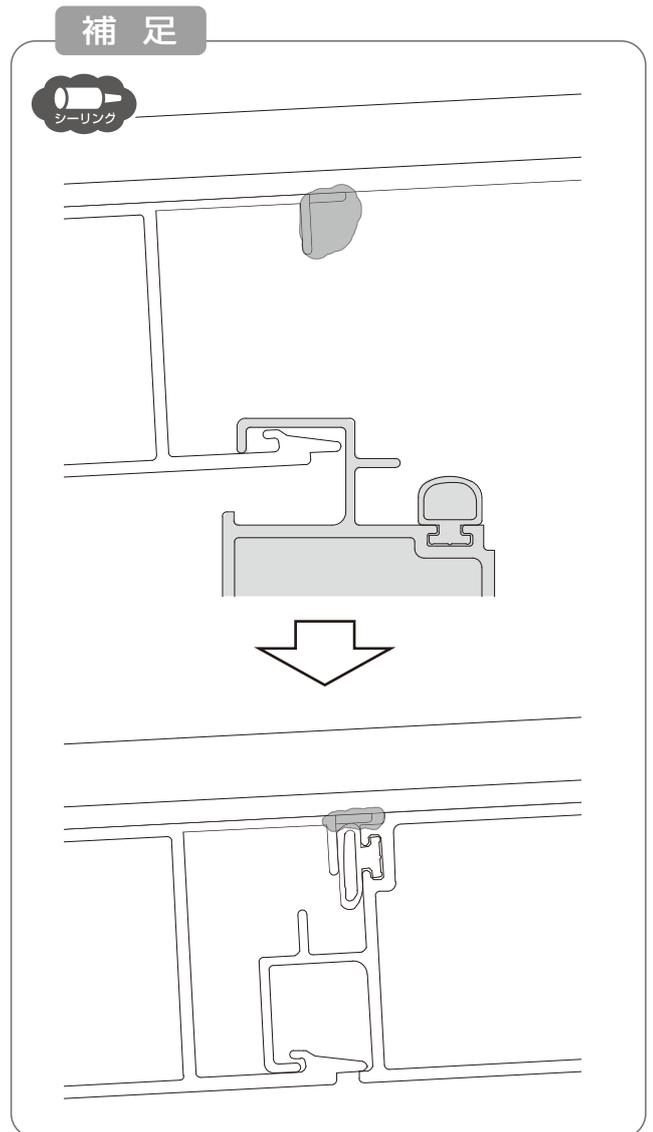
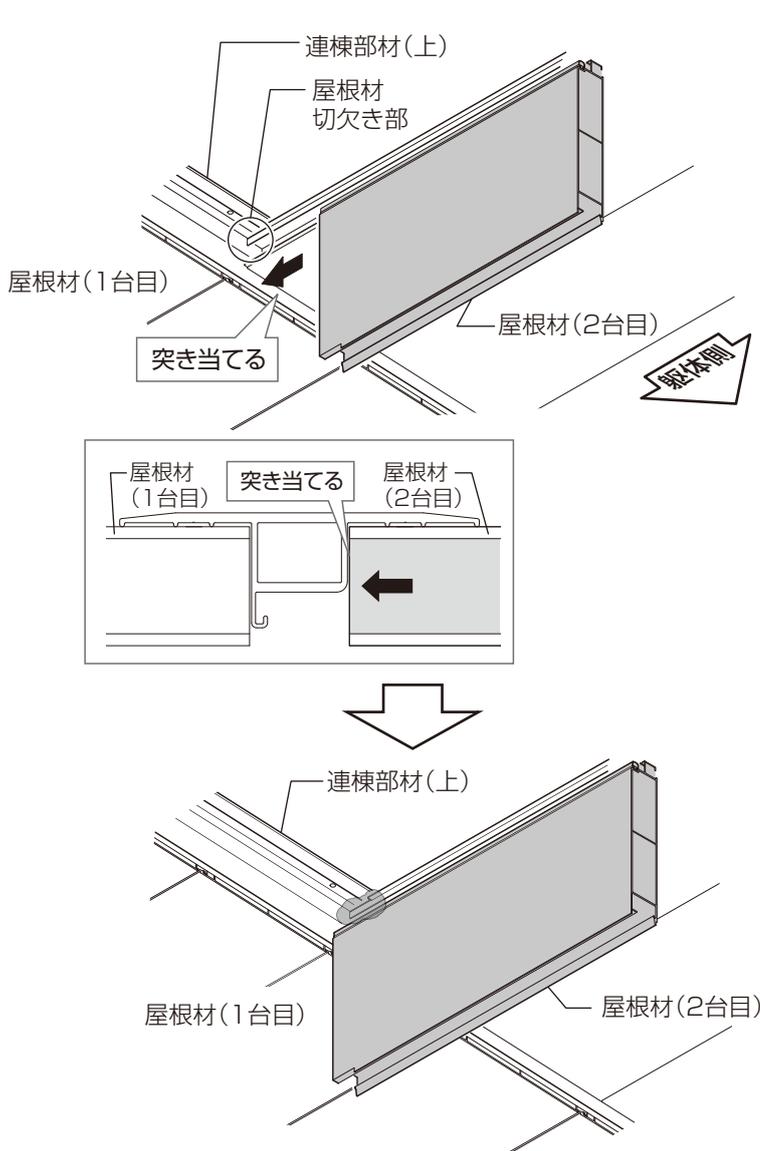
- ① 隙間ふさぎ材(1台目)をP.25を確認のうえ取り付けてください。
- ② 前枠(2台目)の下穴に合せてすき間ふさぎ材を取り付けてください。
- ③ すき間ふさぎ材の連結部を重ね合わせてください。



基本タイプの施工
P.25も参照してください。

5 屋根部(2台目)の取付け

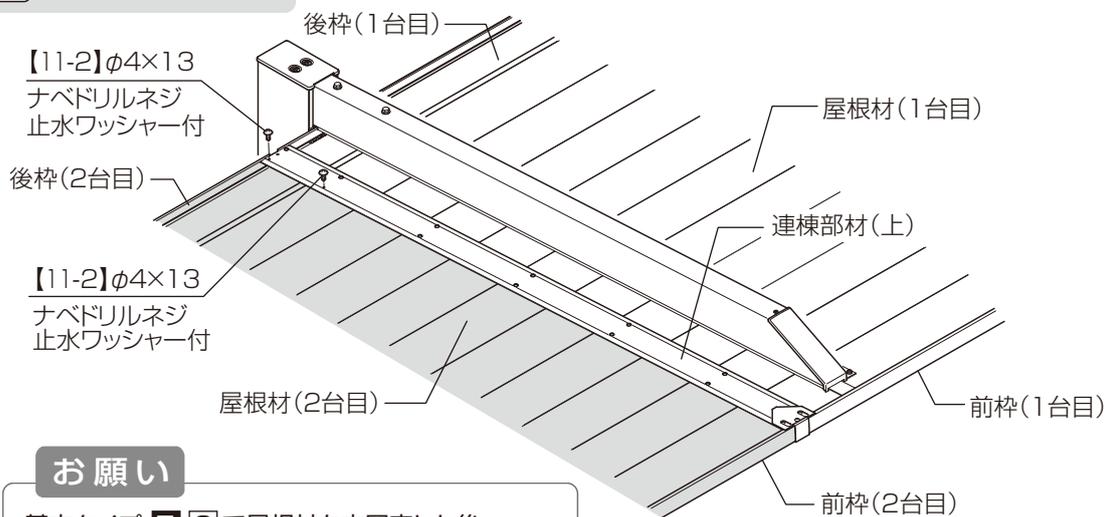
①2台目の屋根材を連棟部材(上)に引っかけた状態で突き当て、屋根材の切欠き部にシーリングしてください。



②基本タイプ **7** ~ **9** の施工方法を参照して取付けてください。



P.26~
基本タイプの施工
P.26~も参照してください。



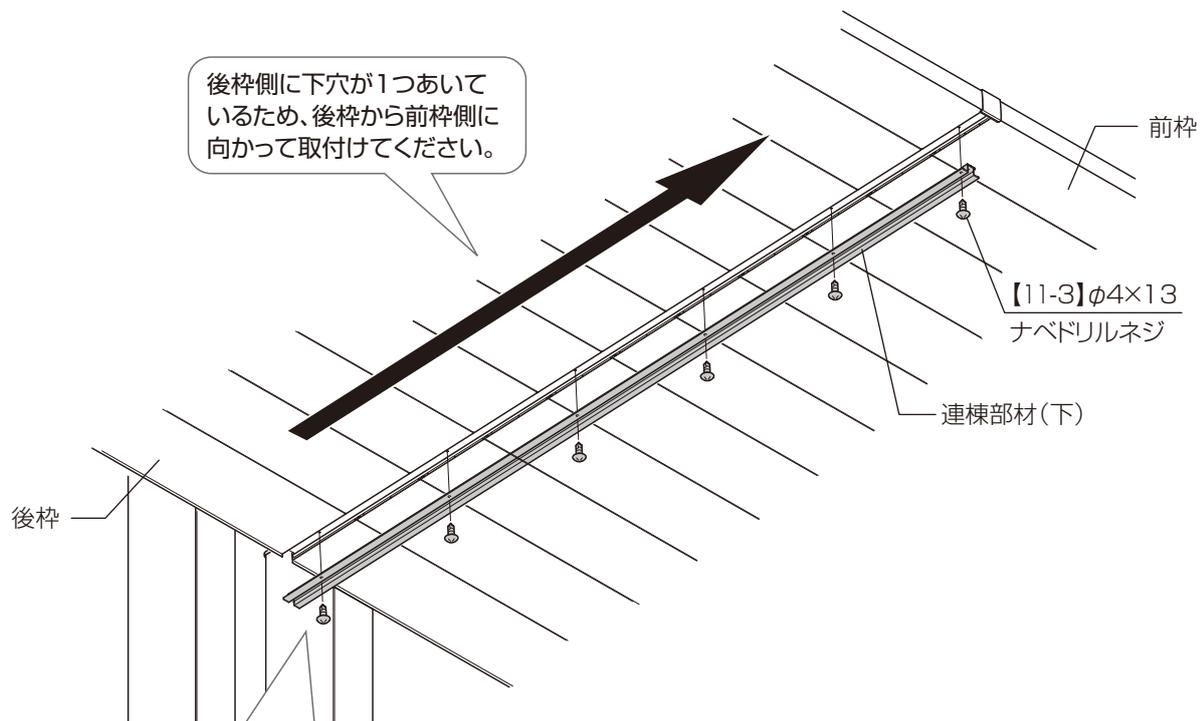
お願い

基本タイプ **7** **2** で屋根材を本固定した後、連棟部材(上)を【11-2】で都度固定してください。

6 連棟部材の取付け

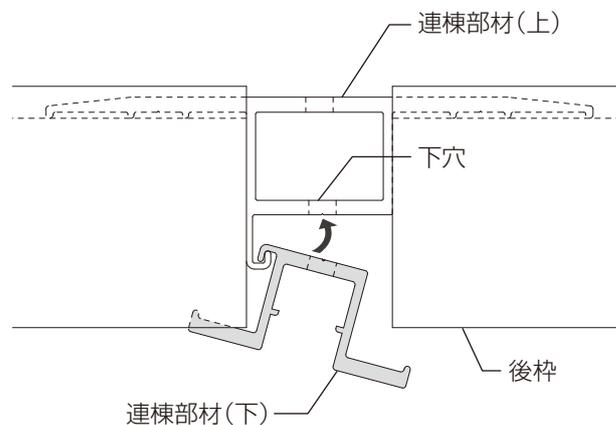
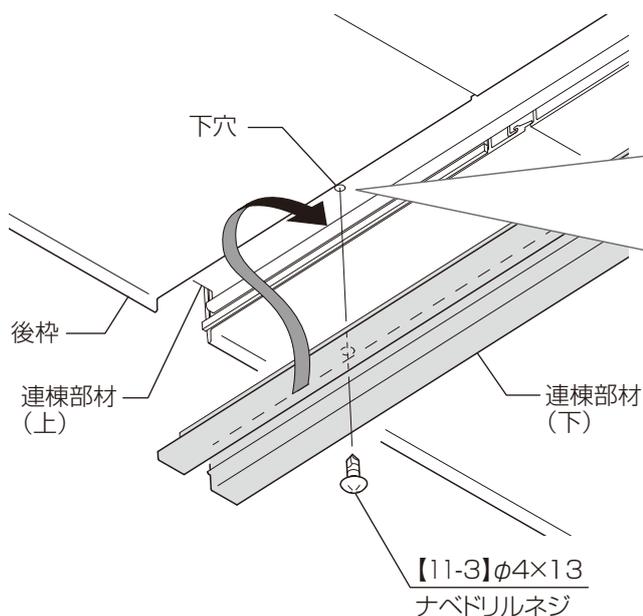
1 連棟部材(下)の取付け

①連棟部材(下)を連棟部材(上)に【11-3】で取付けてください。



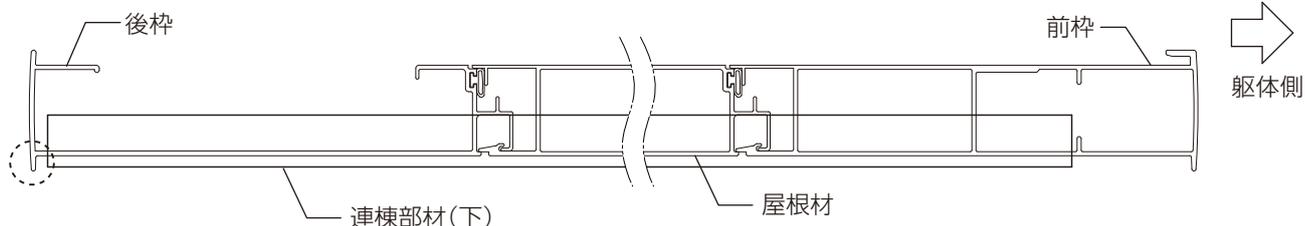
お願い

後枿側の連棟部材(上)と連棟部材(下)の穴を合わせて取付けてください。
(連棟部材(上)の後枿側に下穴が1つあります。)



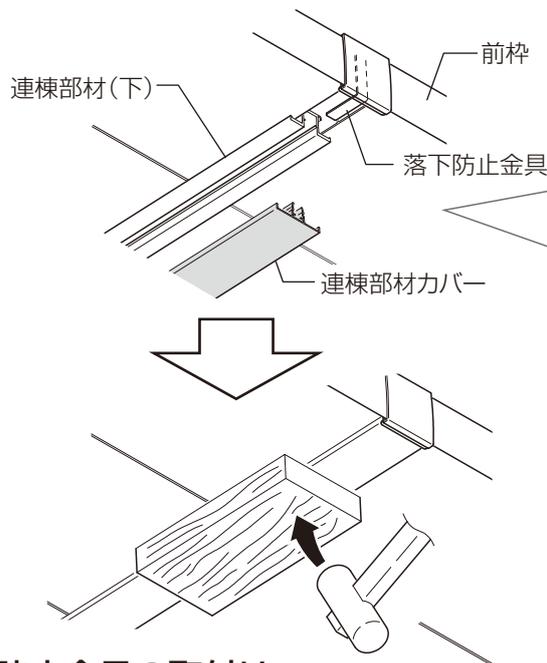
補足

連棟部材(下)取付後に後枿との間にすき間があることを確認してください。
すき間が無いと連結カバーが取りつきません。

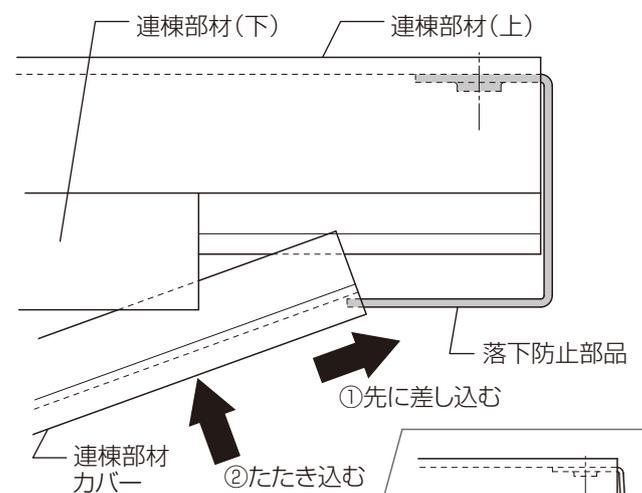
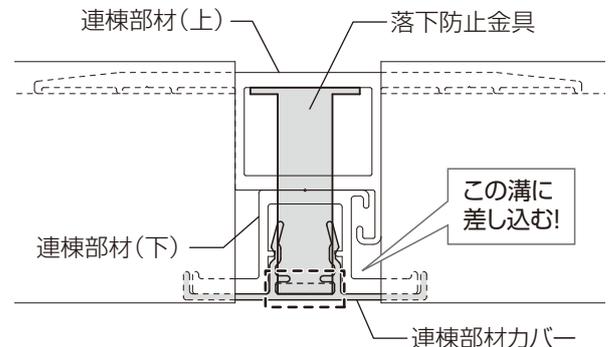


2 連棟部材カバーの取付け

- ①連棟部材カバーを連棟部材(下)に取付けてください。
- ※先に前枠側の落下防止金具に連棟部材カバーの溝部を差し込んでから取付けてください。
- ②当て木を使ってハンマーでたたき込んでください。

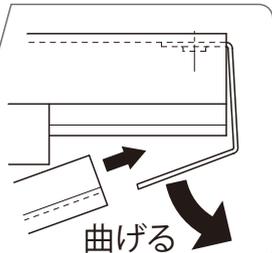


前枠側の連棟部材カバー溝部を先に落下防止金具に差し込んでください。



補足

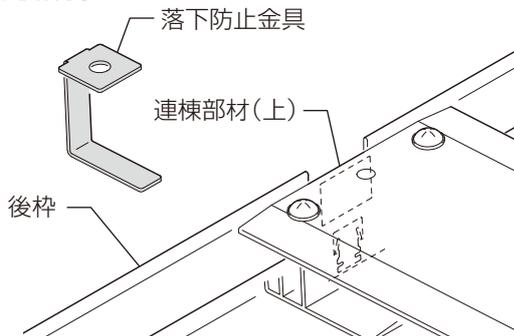
落下防止部品が差し込みにくい場合は、右記の様に曲げてください。



3 落下防止金具の取付け

- ①後枠側に落下防止金具を連棟部材に差し込んでください。

●後枠側



4 連結カバーの取付け

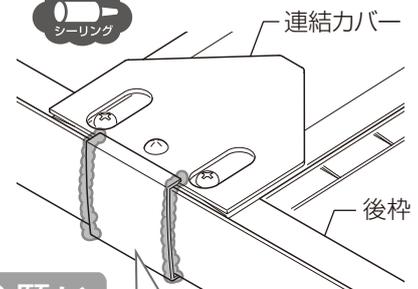
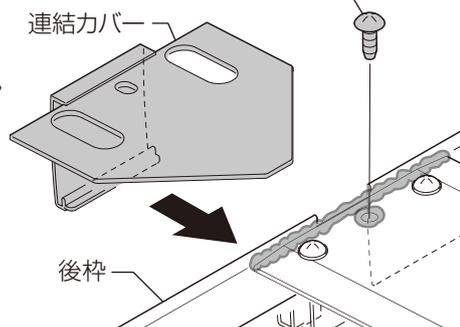
- ①連棟部材(上)の端部と加工穴にシーリングをしてください。
- ②連結カバーを【11-1】で取付けてください。
- ③後枠と連結カバーの接合部にシーリングをしてください。

●後枠側



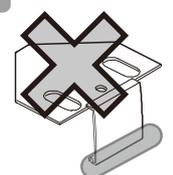
後枠

【11-1】φ5×10
トラスタッピンネジ3種



お願い

右図で囲った部分にはシーリングをしないでください。



取説コード

N005

MAN-703B
201904A_1048
202101B_1048